

**日野町環境基本計画策定にかかる
アンケート調査
結果報告書**

令和6年3月

日野町

目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書の見方.....	2
II 町民意識調査結果.....	3
1 あなた自身のことについて.....	3
2 環境問題について.....	6
3 持続可能な開発目標（SDG s）について.....	11
4 気候変動について.....	13
5 お住まいの周辺の生活環境について.....	15
6 お住まいの周辺の自然環境について.....	26
7 あなた自身の暮らしについて.....	34
8 日常生活での環境への取り組みについて.....	35
9 環境保全に関する活動への参加・協力について.....	38
10 環境保全に関する町の施策について.....	41
11 環境に関する情報提供について.....	43
12 日野町での暮らしについて.....	44
III 事業者調査結果.....	54
1 貴事業所のことについて.....	54
2 持続可能な開発目標（SDG s）について.....	56
3 貴事業所での社会貢献について.....	62
4 貴事業所での環境対策について.....	64
5 環境に関する取り組みについて.....	66
6 行政に期待する施策について.....	67
7 環境保全に関する活動への参加・協力について.....	68
8 環境に関する情報提供について.....	69
9 自由回答.....	70

I アンケート調査の概要

I 調査の目的

本調査は、環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境施策の基本方針となる「日野町環境基本計画」の策定に向けて、町民や町内で活動されている事業者の方から、環境について日頃感じていることやご意見などをお聞きし、計画策定の参考とさせていただくことを目的として実施しました。

2 調査概要

項目	町民意識調査	事業者調査
調査対象者	町内在住の 18 歳以上の方 (無作為抽出)	町内で活動する事業者 (無作為抽出)
調査期間	令和 5 年 10 月 31 日 (火) ～11 月 20 日 (月)	令和 5 年 10 月 31 日 (火) ～11 月 20 日 (月)
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入 及びWEB方式	郵送配布・郵送回収による記入 及びWEB方式

3 回収結果

調査名	配布数	有効回収数	有効回収率
町民意識調査	1,000 件	364 件	36.4%
事業者調査	100 件	47 件	47.0%

4 報告書の見方

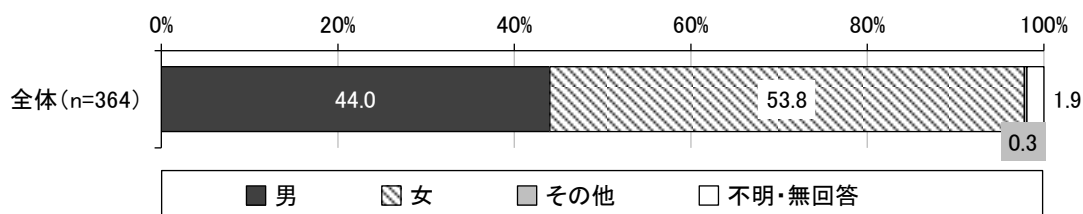
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

Ⅱ 町民意識調査結果

Ⅰ あなた自身のことについて

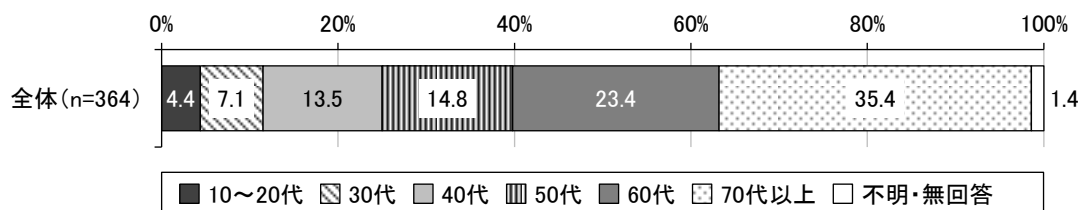
(1) あなたの性別を教えてください。(ひとつに○)

性別についてみると、「男」が44.0%、「女」が53.8%、「その他」が0.3%となっています。



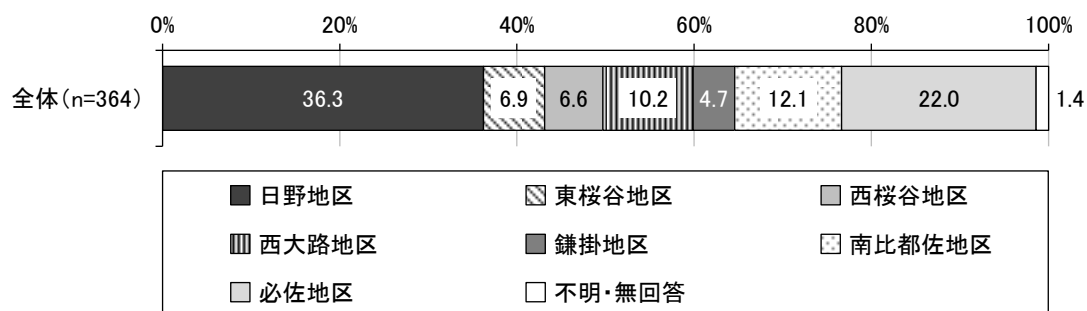
(2) あなたの年代を教えてください。(ひとつに○)

年代についてみると、「70代以上」が35.4%と最も高く、次いで「60代」が23.4%、「50代」が14.8%となっています。



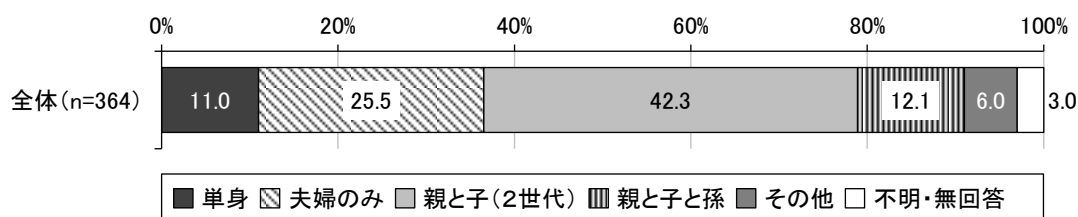
(3) あなたのお住まいを教えてください。(ひとつに○)

居住地区についてみると、「日野地区」が36.3%と最も高く、次いで「必佐地区」が22.0%、「南比都佐地区」が12.1%となっています。



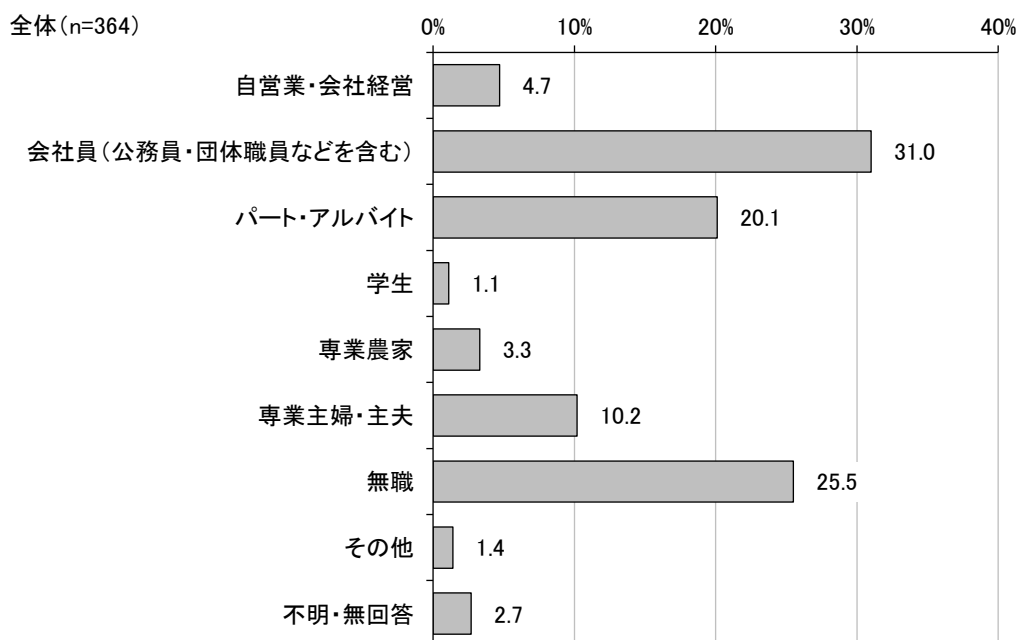
(4) あなたの家族構成を教えてください。(ひとつに○)

家族構成についてみると、「親と子(2世代)」が42.3%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が25.5%、「親と子と孫」が12.1%となっています。



(5) あなたの職業を教えてください。(あてはまるものひとつに○)

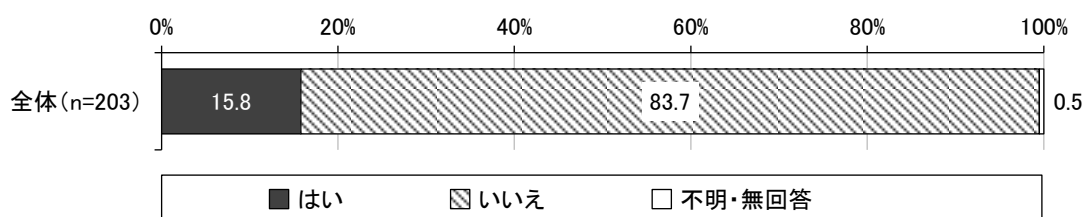
職業についてみると、「会社員(公務員・団体職員などを含む)」が31.0%と最も高く、次いで「無職」が25.5%、「パート・アルバイト」が20.1%となっています。



「自営業・会社経営」「会社員」「パート・アルバイト」と回答された方

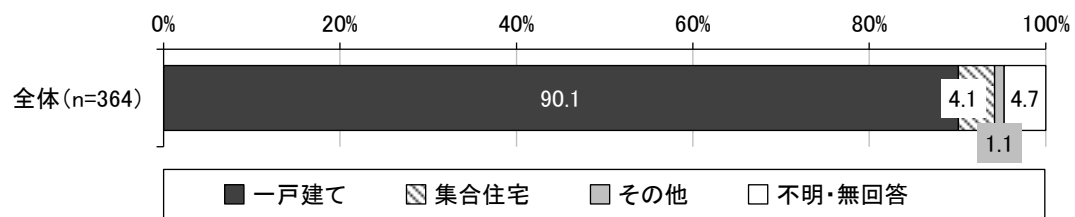
(5-1) 兼業農家ですか。(ひとつに○)

職業が兼業農家かどうかについてみると、「いいえ」が83.7%と、「はい」の15.8%を上回っています。



(6) あなたのお住まいの形態を教えてください。(ひとつに○)

住まいの形態についてみると、「一戸建て」が90.1%と最も高く、次いで「集合住宅」が4.1%、「その他」が1.1%となっています。

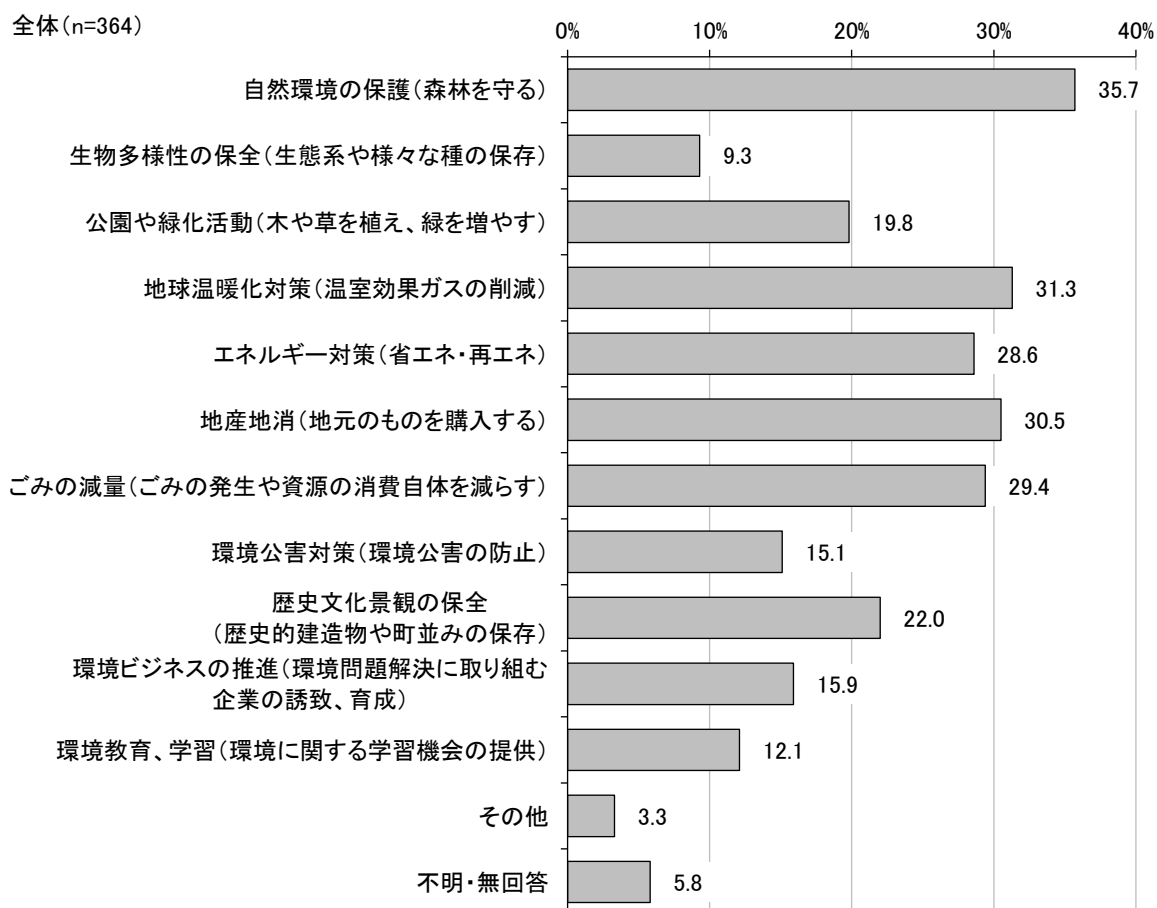


2 環境問題について

(1) 日野町が 2050 年にどのような環境の先進地になってほしいですか？

(あてはまるものに3つまで○)

日野町が 2050 年にどのような環境の先進地になってほしいかについてみると、「自然環境の保護（森林を守る）」が 35.7%と最も高く、次いで「地球温暖化対策（温室効果ガスの削減）」が 31.3%、「地産地消（地元のものを購入する）」が 30.5%となっています。



(2) その理由は何ですか？(自由記述：代表的な例)

日野町全体について	
	今ある資源をそのまま保存すべき。もっと資源を活用する
	町の活性化に期待する
	住みやすい環境、町であって欲しい。未来の子供達が安全に暮らせる環境であって欲しい
	日野町独特の継承されてきた文化や遺産を継承してほしい
	環境対策だけでなくビジネスを入れると地域発展にもなる
	人口減少するなか、住む人達が心豊かに暮らせるための取り組み
	空き家の活用

自然環境について	
	今ある自然を残すべき、自然を活用してほしい。自然が多い環境を生かした取り組みの推進。
	木、田んぼを大事にして欲しい。緑地が減少している
	人と動物の住み分けを図り、保全してもらいたい
	自然はたくさん残っているように見えるが、里山の保全については疑問がある

子どもたちへの継承、教育について	
	子どもたちへ教える人、行動する人を増やす
	日野祭など伝統、歴史ある町並みや文化の継承を後世に伝えるべき
	森林を整備して次の世代につなげていくべき
	若い人達が住みやすい町になってほしい
	今ある自然環境の強みを活用し子どもたちへ教育してほしい

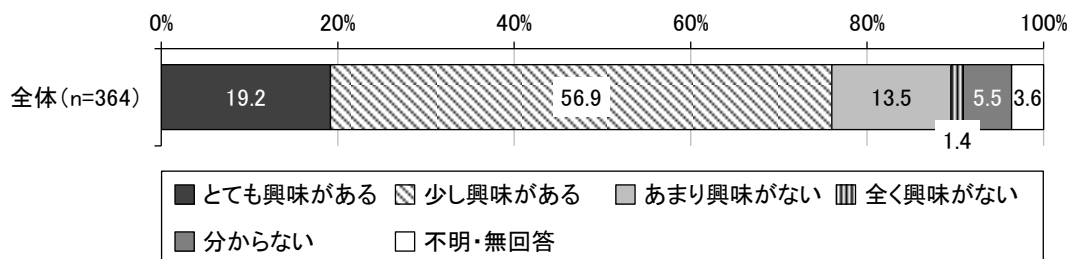
地球温暖化について	
	地球温暖化を強く感じるため
	地球を守るために対策が必要
	身近に取り組めるごとに意識を高め、各自がしっかりと取り組むことが必要
	エコカー購入時の補助金に期待したい

ゴミ問題について	
	ゴミが多い。不法投棄が多い
	ゴミの減量。リサイクル率を高くすることは環境負荷と経済面の効果があると思う

(3) あなたは、環境問題に興味がありますか。(ひとつに○)

環境問題に興味があるかについてみると、「少し興味がある」が 56.9%と最も高く、次いで「とても興味がある」が 19.2%、「あまり興味がない」が 13.5%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「少し興味がある」が最も高くなっており、50代以上で6割台となっています。

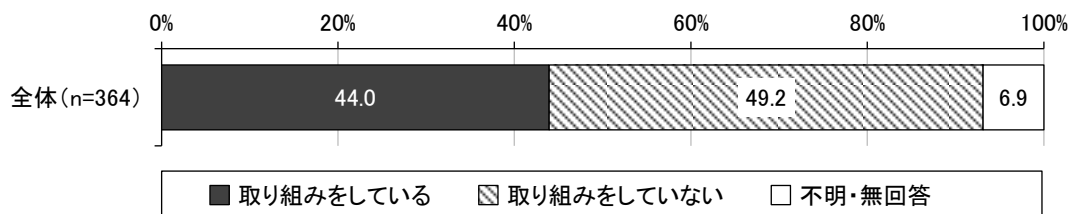


単位: %	とても興味がある	少し興味がある	あまり興味がない	全く興味がない	分からない	不明・無回答
全体 (n=364)	19.2	56.9	13.5	1.4	5.5	3.6
10～20代 (n=16)	12.5	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0
30代 (n=26)	0.0	53.8	42.3	0.0	3.8	0.0
40代 (n=49)	24.5	32.7	28.6	2.0	8.2	4.1
50代 (n=54)	18.5	63.0	11.1	0.0	5.6	1.9
60代 (n=85)	22.4	67.1	4.7	1.2	4.7	0.0
70代以上 (n=129)	20.9	60.5	7.8	0.8	6.2	3.9

(4) あなたは、環境問題に関する取り組みをしていますか。(ひとつに○)

環境問題に関する取り組みをしているかについてみると、「取り組みをしていない」が49.2%と、「取り組みをしている」の44.0%を上回っています。

年代別にみると、10～40代・70代以上では「取り組みをしていない」、50代・60代では「取り組みをしている」が最も高くなっています。



単位: %	取り組みをしている	取り組みをしていない	不明・無回答
全体 (n=364)	44.0	49.2	6.9
10～20代 (n=16)	25.0	75.0	0.0
30代 (n=26)	30.8	69.2	0.0
40代 (n=49)	34.7	61.2	4.1
50代 (n=54)	59.3	38.9	1.9
60代 (n=85)	61.2	38.8	0.0
70代以上 (n=129)	36.4	50.4	13.2

「取り組みをしている」と回答された方

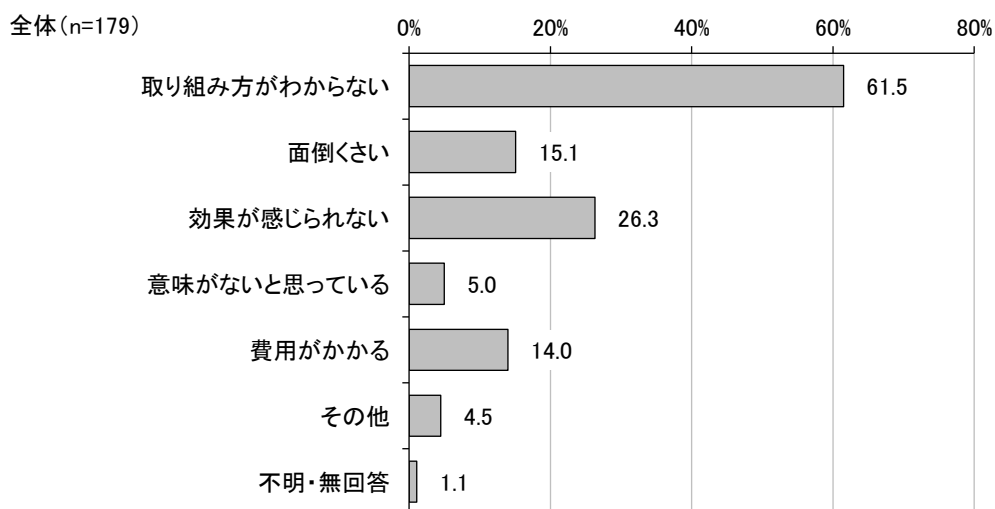
（４－１）取り組みをしている方は具体的に何をしていますか（代表的な例）

ごみ減量、資源化（コンポスト）	環境こだわり米（無農薬米・無農薬野菜）
リサイクル	除草活動
エコバック利用	エコドライブ
省エネ	車をなるべく使わない（公共交通機関の利用）
マイボトルの使用	地産地消
節電	エコカー
節水	農地の管理、草刈り
太陽光発電	できるだけ歩く
空き缶の回収	犬、猫の保護活動をしています
道路、川、近所のごみ拾い	枯れ葉や草刈の利用
家の省エネ、断熱	環境公害対策
エアコンの温度調整	采食中心の食生活をしている
エコキュート	再生資源を利用するようにしている
必要最低限のものを購入する	農業をしている
洗剤のいらないスポンジ使用	農作業用品に自然な物を使う
脱プラスチック	畑の草を埋める
排水路の清掃	ボランティア
薪ストーブの導入	仕事で出来るゴミを産業廃棄物処理業者に依頼している
無駄なものは買わない	

「取り組みをしていない」と回答された方

（４－２）取り組みをしていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

取り組みをしていない理由についてみると、「取り組み方がわからない」が 61.5%と最も高く、次いで「効果を感じられない」が 26.3%、「面倒くさい」が 15.1%となっています。

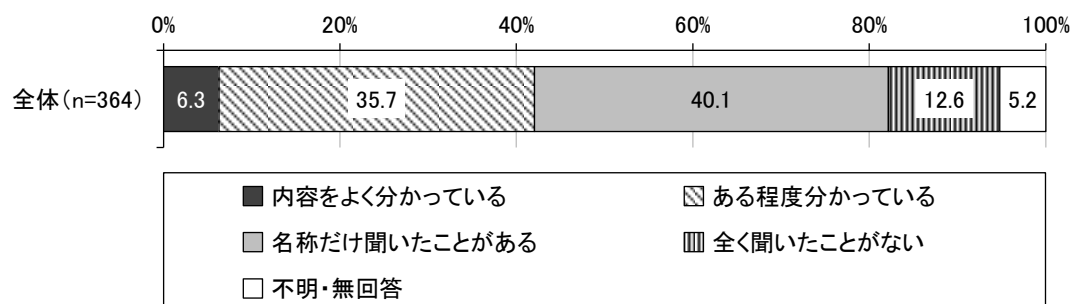


3 持続可能な開発目標（SDGs）について

（１）あなたは「持続可能な開発目標（SDGs）」をご存じですか。（ひとつに○）

「持続可能な開発目標（SDGs）」の認知度についてみると、「名称だけ聞いたことがある」が40.1%と最も高く、次いで「ある程度分かっている」が35.7%、「全く聞いたことがない」が12.6%となっています。

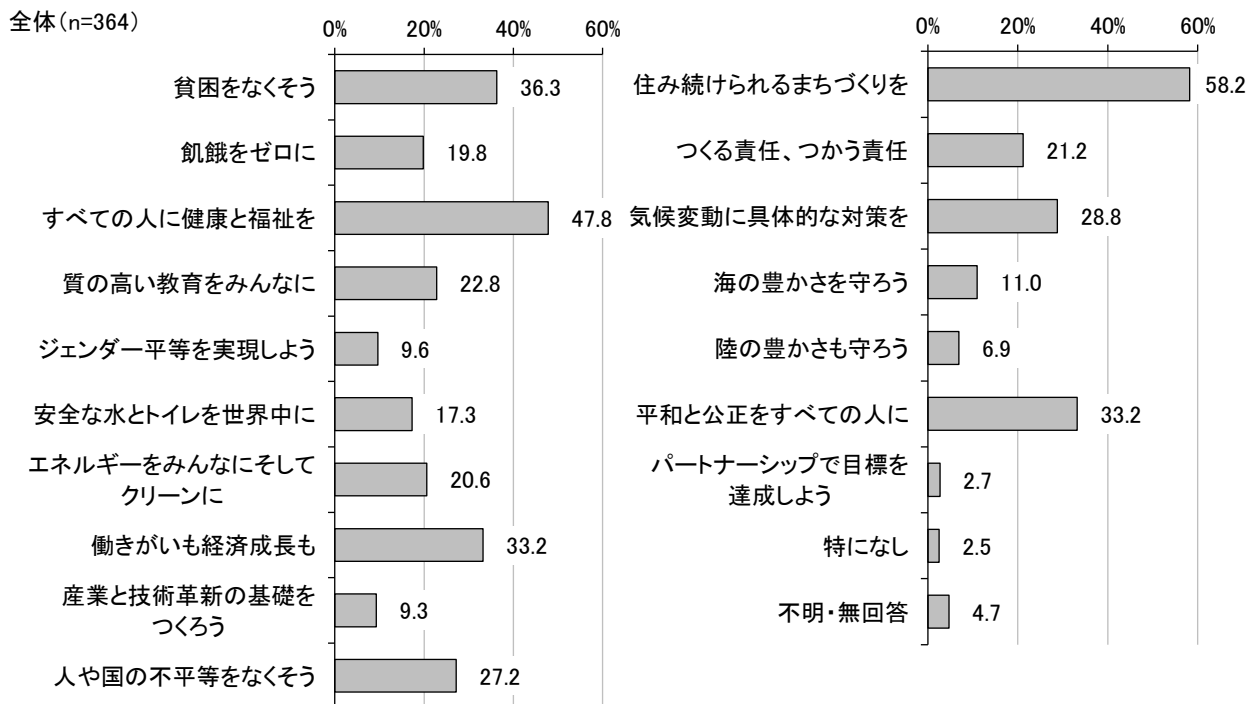
年代別にみると、10～20代・40～60代では「ある程度分かっている」、30代・70代以上では「名称だけ聞いたことがある」が最も高くなっています。



単位: %	内容をよく分かっている	ある程度分かっている	名称だけ聞いたことがある	全く聞いたことがない	不明・無回答
全体(n=364)	6.3	35.7	40.1	12.6	5.2
10～20代(n=16)	6.3	43.8	37.5	12.5	0.0
30代(n=26)	0.0	38.5	53.8	7.7	0.0
40代(n=49)	8.2	40.8	38.8	8.2	4.1
50代(n=54)	3.7	50.0	33.3	11.1	1.9
60代(n=85)	8.2	44.7	38.8	7.1	1.2
70代以上(n=129)	7.0	21.7	43.4	20.2	7.8

(2) SDGsには下記の17の目標が定められていますが、あなたの関心が高い分野はどれですか。(あてはまるもの5つに○)

SDGsの17の目標で関心が高い分野についてみると、「住み続けられるまちづくりを」が58.2%と最も高く、次いで「すべての人に健康と福祉を」が47.8%、「貧困をなくそう」が36.3%となっています。

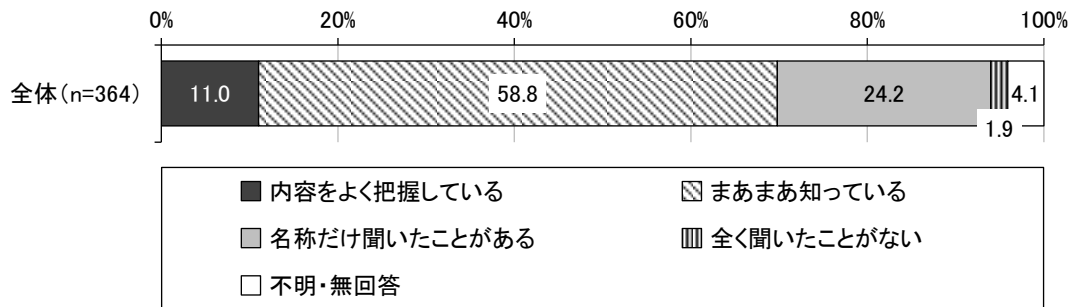


4 気候変動について

(1) あなたは、気候変動のことをご存じですか。(ひとつに○)

気候変動の認知度についてみると、「まあまあ知っている」が 58.8%と最も高く、次いで「名称だけ聞いたことがある」が 24.2%、「内容をよく把握している」が 11.0%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「まあまあ知っている」が最も高く、50代で7割台となっています。

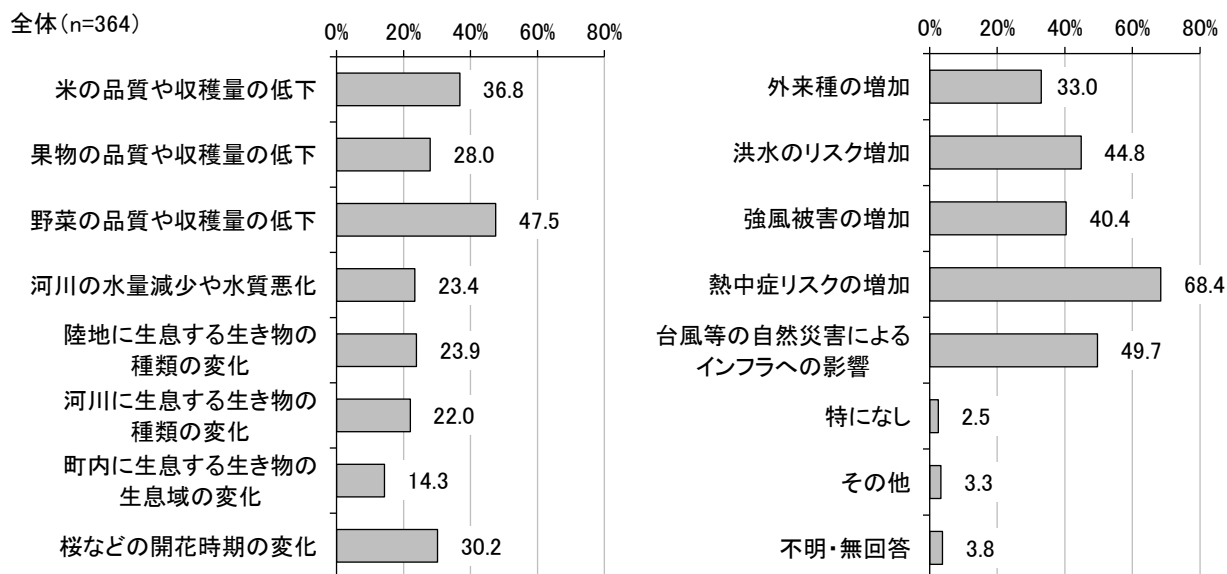


単位: %	内容をよく把握している	まあまあ知っている	名称だけ聞いたことがある	全く聞いたことがない	不明・無回答
全体(n=364)	11.0	58.8	24.2	1.9	4.1
10～20代(n=16)	18.8	50.0	18.8	12.5	0.0
30代(n=26)	3.8	50.0	46.2	0.0	0.0
40代(n=49)	8.2	53.1	36.7	0.0	2.0
50代(n=54)	3.7	72.2	22.2	0.0	1.9
60代(n=85)	11.8	62.4	23.5	0.0	2.4
70代以上(n=129)	14.0	55.8	17.8	3.9	8.5

(2) 地球温暖化の影響を受けていると感じているものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

地球温暖化の影響を受けていると感じているものについてみると、「熱中症リスクの増加」が 68.4%と最も高く、次いで「台風等の自然災害によるインフラへの影響」が 49.7%、「野菜の品質や収穫量の低下」が 47.5%となっています。

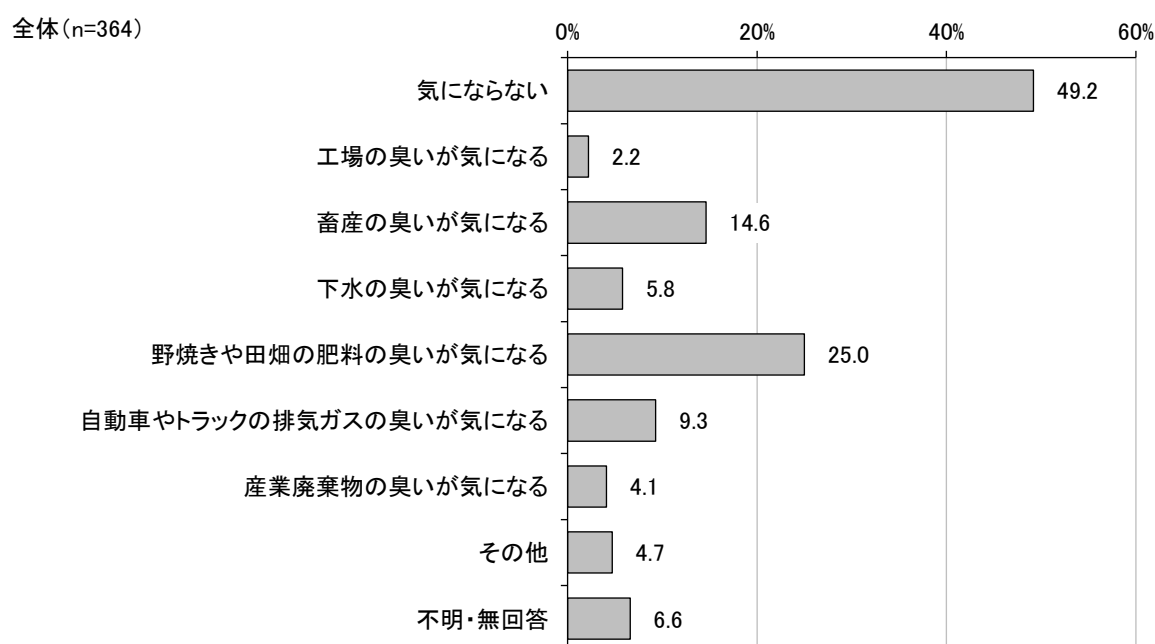


5 お住まいの周辺の生活環境について

(1) 近隣の臭いについてどう感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

近隣の臭いをどう感じているかについてみると、「気にならない」が49.2%と最も高く、次いで「野焼きや田畑の肥料の臭いが気になる」が25.0%、「畜産の臭いが気になる」が14.6%となっています。

地区別にみると、西大路地区では「畜産の臭いが気になる」、その他の地区では「気にならない」が最も高くなっています。

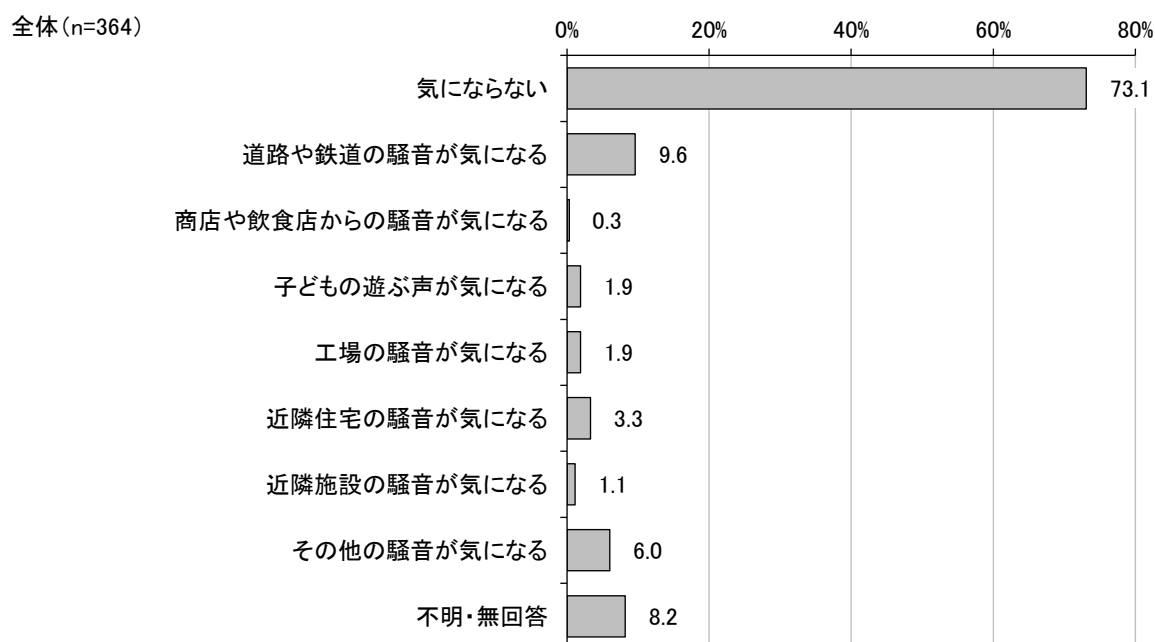


単位: %	気にならない	工場の臭いが気になる	畜産の臭いが気になる	下水の臭いが気になる	野焼きや田畑の肥料の臭いが気になる	自動車やトラックの排気ガスの臭いが気になる	産業廃棄物の臭いが気になる	その他	不明・無回答
全体(n=364)	49.2	2.2	14.6	5.8	25.0	9.3	4.1	4.7	6.6
日野地区(n=132)	53.8	2.3	18.2	6.1	24.2	9.1	3.0	6.8	2.3
東桜谷地区(n=25)	40.0	8.0	8.0	8.0	28.0	16.0	8.0	8.0	4.0
西桜谷地区(n=24)	62.5	4.2	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	4.2
西大路地区(n=37)	24.3	0.0	35.1	8.1	24.3	8.1	13.5	8.1	10.8
鎌掛地区(n=17)	76.5	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	11.8
南比都佐地区(n=44)	47.7	0.0	9.1	4.5	31.8	6.8	4.5	0.0	9.1
必佐地区(n=80)	48.8	2.5	8.8	6.3	21.3	12.5	2.5	3.8	11.3

(2) 近隣の騒音についてどう感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

近隣の騒音をどう感じているかについてみると、「気にならない」が73.1%と最も高く、次いで「道路や鉄道の騒音が気になる」が9.6%、「その他の騒音が気になる」が6.0%となっています。

地区別にみると、すべての地区で「気にならない」が最も高くなっています。また、南比都佐地区・必佐地区では「道路や鉄道の騒音が気になる」が1割台となっています。

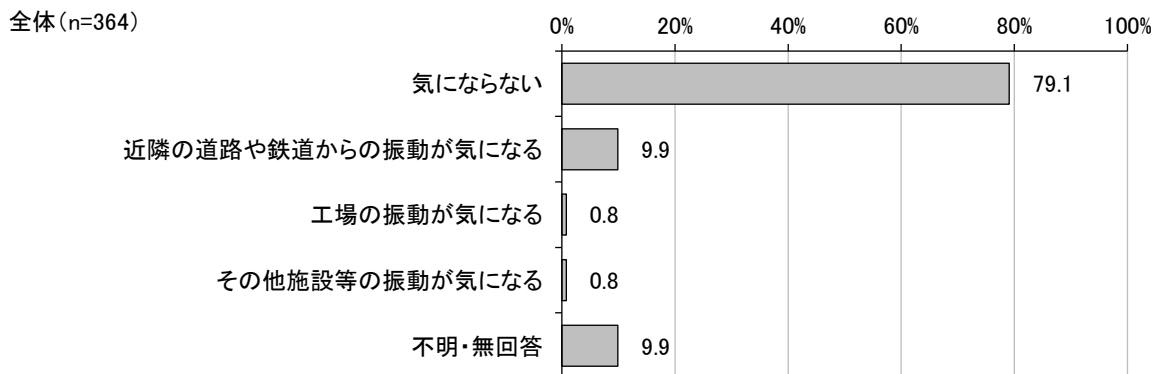


単位: %	気にならない	道路や鉄道の騒音が気になる	商店や飲食店からの騒音が気になる	子どもの遊ぶ声が気になる	工場の騒音が気になる	近隣住宅の騒音が気になる	近隣施設の騒音が気になる	その他の騒音が気になる	不明・無回答
全体(n=364)	73.1	9.6	0.3	1.9	1.9	3.3	1.1	6.0	8.2
日野地区(n=132)	78.0	9.1	0.8	5.3	1.5	5.3	2.3	8.3	3.0
東桜谷地区(n=25)	72.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	8.0	12.0
西桜谷地区(n=24)	79.2	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2
西大路地区(n=37)	62.2	5.4	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	10.8	16.2
鎌掛地区(n=17)	76.5	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	11.8
南比都佐地区(n=44)	72.7	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	11.4
必佐地区(n=80)	67.5	15.0	0.0	0.0	1.3	3.8	1.3	2.5	10.0

(3) 近隣の振動についてどう感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

近隣の振動をどう感じているかについてみると、「気にならない」が79.1%と最も高く、次いで「近隣の道路や鉄道からの振動が気になる」が9.9%、「工場の振動が気になる」「その他施設等の振動が気になる」が0.8%となっています。

地区別にみると、すべての地区で「気にならない」が最も高くなっています。また、西桜谷地区・西大路地区・南比都佐地区・必佐地区では「近隣の道路や鉄道からの振動が気になる」が1割台となっています。

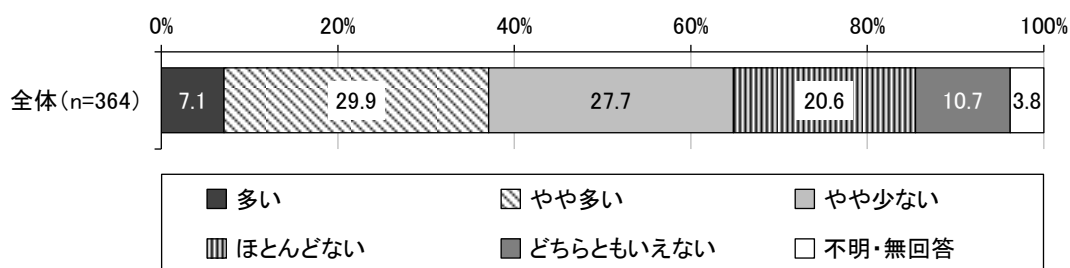


単位: %	気にならない	近隣の道路や鉄道からの振動が気になる	工場の振動が気になる	その他施設等の振動が気になる (施設名)	不明・無回答
全体(n=364)	79.1	9.9	0.8	0.8	9.9
日野地区(n=132)	85.6	8.3	1.5	1.5	4.5
東桜谷地区(n=25)	88.0	0.0	4.0	0.0	8.0
西桜谷地区(n=24)	75.0	12.5	0.0	0.0	12.5
西大路地区(n=37)	70.3	10.8	0.0	0.0	18.9
鎌掛地区(n=17)	82.4	0.0	0.0	0.0	17.6
南比都佐地区(n=44)	75.0	11.4	0.0	0.0	13.6
必佐地区(n=80)	72.5	15.0	0.0	1.3	11.3

(4) 町内のごみの不法投棄やポイ捨てについてどう感じていますか。(ひとつに○)

町内のごみの不法投棄やポイ捨てをどう感じているかについてみると、「やや多い」が29.9%と最も高く、次いで「やや少ない」が27.7%、「ほとんどない」が20.6%となっています。

地区別にみると、西大路地区では「やや少ない」「ほとんどない」、必佐地区では「やや少ない」、その他の地区では「やや多い」が最も高くなっています。

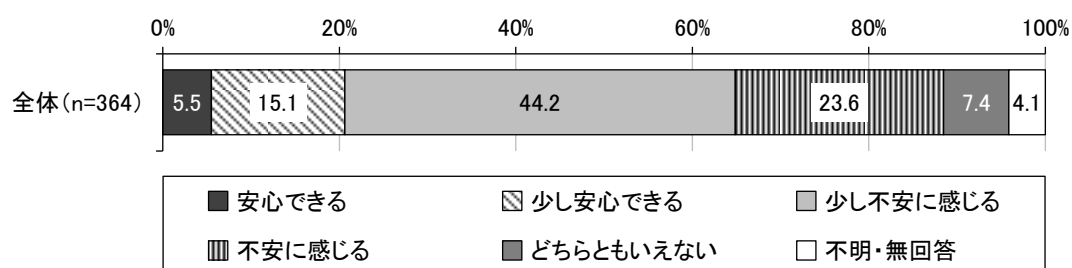


単位: %	多い	やや多い	やや少ない	ほとんどない	どちらともいえない	不明・無回答
全体(n=364)	7.1	29.9	27.7	20.6	10.7	3.8
日野地区(n=132)	6.1	29.5	25.8	24.2	12.9	1.5
東桜谷地区(n=25)	4.0	40.0	28.0	20.0	4.0	4.0
西桜谷地区(n=24)	8.3	37.5	25.0	20.8	4.2	4.2
西大路地区(n=37)	5.4	18.9	32.4	32.4	5.4	5.4
鎌掛地区(n=17)	5.9	35.3	29.4	5.9	17.6	5.9
南比都佐地区(n=44)	6.8	34.1	31.8	13.6	6.8	6.8
必佐地区(n=80)	11.3	27.5	28.7	13.8	13.8	5.0

(5) 町内の道路等の安全性（歩行者や自転車）についてどう感じていますか。（ひとつに○）

町内の道路等の安全性（歩行者や自転車）をどう感じているかについてみると、「少し不安に感じる」が44.2%と最も高く、次いで「不安に感じる」が23.6%、「少し安心できる」が15.1%となっています。

地区別にみると、西桜谷地区では「少し安心できる」、その他の地区では「少し不安に感じる」が最も高くなっています。

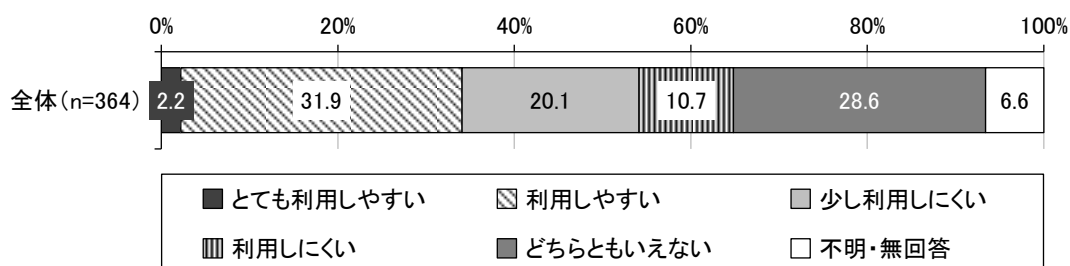


単位：%	安心できる	少し安心できる	少し不安に感じる	不安に感じる	どちらともいえない	不明・無回答
全体(n=364)	5.5	15.1	44.2	23.6	7.4	4.1
日野地区(n=132)	4.5	9.1	47.7	30.3	6.8	1.5
東桜谷地区(n=25)	0.0	16.0	68.0	0.0	12.0	4.0
西桜谷地区(n=24)	8.3	33.3	25.0	20.8	8.3	4.2
西大路地区(n=37)	8.1	21.6	43.2	13.5	8.1	5.4
鎌掛地区(n=17)	11.8	11.8	47.1	11.8	5.9	11.8
南比都佐地区(n=44)	6.8	11.4	36.4	34.1	9.1	2.3
必佐地区(n=80)	3.8	18.8	41.3	23.8	5.0	7.5

(6) 町内の緑地や公園等レクリエーション施設についてどう感じていますか。(ひとつに○)

町内の緑地や公園等レクリエーション施設をどう感じているかについてみると、「利用しやすい」が31.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.6%、「少し利用しにくい」が20.1%となっています。

地区別にみると、日野地区・鎌掛地区では「どちらともいえない」、東桜谷地区では「利用しやすい」「少し利用しにくい」、その他の地区では「利用しやすい」が最も高くなっています。

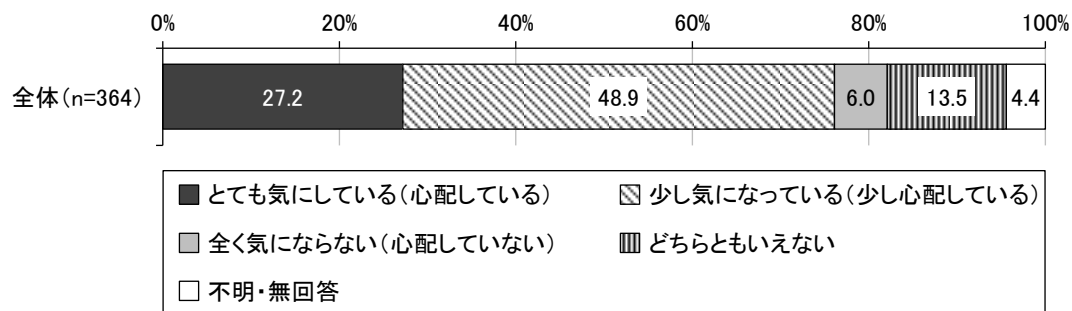


単位: %	とても利用しやすい	利用しやすい	少し利用しにくい	利用しにくい	どちらともいえない	不明・無回答
全体 (n=364)	2.2	31.9	20.1	10.7	28.6	6.6
日野地区 (n=132)	3.8	28.0	18.9	9.8	34.8	4.5
東桜谷地区 (n=25)	0.0	36.0	36.0	0.0	28.0	0.0
西桜谷地区 (n=24)	0.0	45.8	16.7	25.0	8.3	4.2
西大路地区 (n=37)	0.0	43.2	13.5	13.5	18.9	10.8
鎌掛地区 (n=17)	5.9	5.9	23.5	11.8	35.3	17.6
南比都佐地区 (n=44)	2.3	31.8	25.0	9.1	29.5	2.3
必佐地区 (n=80)	1.3	30.0	18.8	11.3	27.5	11.3

(7) 町内の田んぼや里山の荒廃についてどう感じていますか。(ひとつに○)

町内の田んぼや里山の荒廃をどう感じているかについてみると、「少し気になっている（少し心配している）」が48.9%と最も高く、次いで「とても気にしている（心配している）」が27.2%、「どちらともいえない」が13.5%となっています。

地区別にみると、西桜谷地区では「とても気にしている（心配している）」「少し気になっている（少し心配している）」、鎌掛地区では「とても気にしている（心配している）」、その他の地区では「少し気になっている（少し心配している）」が最も高くなっています。

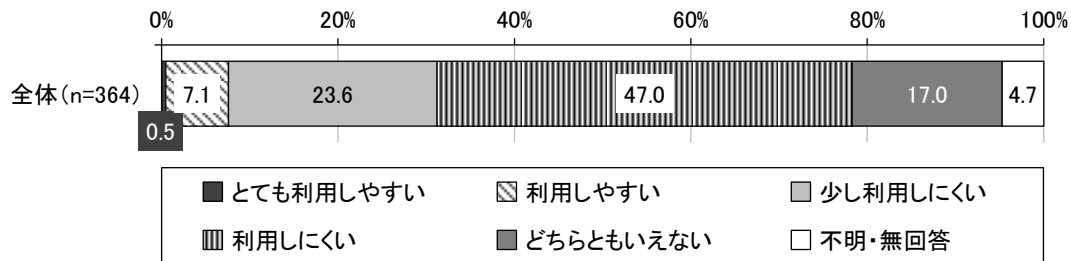


単位: %	とても気にしている(心配している)	少し気になっている(少し心配している)	全く気にならない(心配していない)	どちらともいえない	不明・無回答
全体(n=364)	27.2	48.9	6.0	13.5	4.4
日野地区(n=132)	18.9	54.5	8.3	16.7	1.5
東桜谷地区(n=25)	40.0	48.0	0.0	12.0	0.0
西桜谷地区(n=24)	37.5	37.5	12.5	8.3	4.2
西大路地区(n=37)	21.6	62.2	0.0	8.1	8.1
鎌掛地区(n=17)	52.9	41.2	0.0	0.0	5.9
南比都佐地区(n=44)	36.4	47.7	2.3	9.1	4.5
必佐地区(n=80)	26.3	40.0	7.5	17.5	8.8

(8) バスや電車の利用しやすさについてどう感じていますか。(ひとつに○)

バスや電車の利用しやすさをどう感じているかについてみると、「利用しにくい」が 47.0%と最も高く、次いで「少し利用しにくい」が 23.6%、「どちらともいえない」が 17.0%となっています。

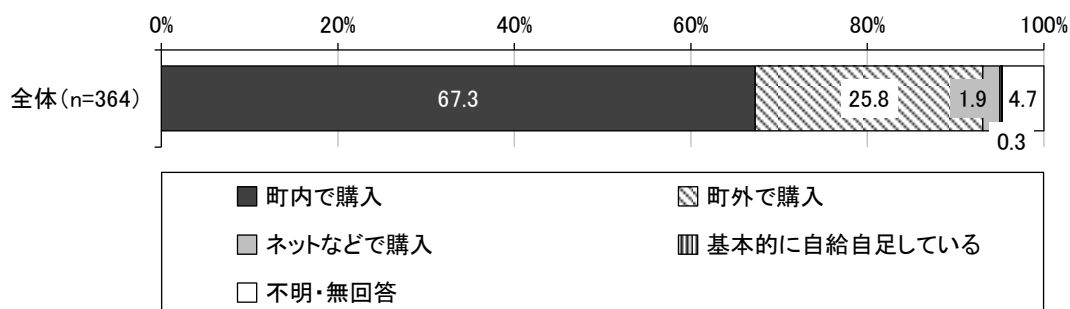
地区別にみると、西大路地区では「少し利用しにくい」、鎌掛地区では「利用しにくい」「どちらともいえない」、その他の地区では「利用しにくい」が最も高くなっています。



単位: %	とても利用しやすい	利用しやすい	少し利用しにくい	利用しにくい	どちらともいえない	不明・無回答
全体 (n=364)	0.5	7.1	23.6	47.0	17.0	4.7
日野地区 (n=132)	0.0	5.3	23.5	50.8	18.2	2.3
東桜谷地区 (n=25)	0.0	0.0	24.0	48.0	24.0	4.0
西桜谷地区 (n=24)	0.0	0.0	12.5	66.7	16.7	4.2
西大路地区 (n=37)	2.7	8.1	37.8	32.4	13.5	5.4
鎌掛地区 (n=17)	5.9	11.8	17.6	29.4	29.4	5.9
南比都佐地区 (n=44)	0.0	2.3	29.5	59.1	4.5	4.5
必佐地区 (n=80)	0.0	15.0	16.3	40.0	20.0	8.8

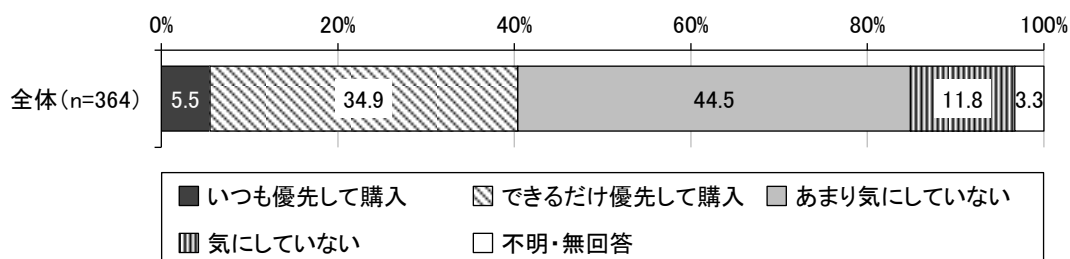
(9) 普段の買い物は主にどこで購入していますか。(ひとつに○)

普段の買い物の主な購入先についてみると、「町内で購入」が 67.3%と最も高く、次いで「町外で購入」が 25.8%、「ネットなどで購入」が 1.9%となっています。



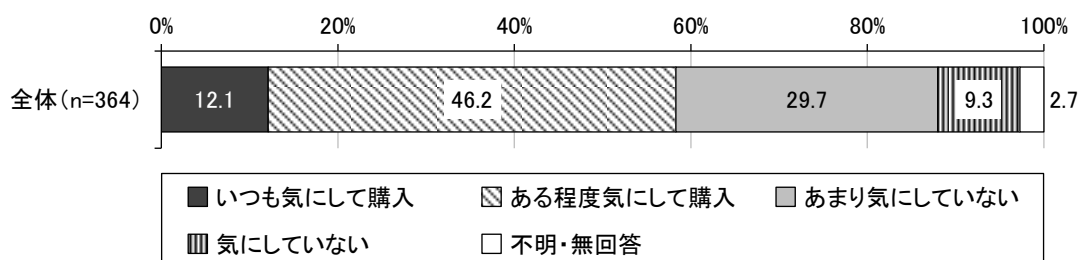
(10) 買い物の際に地元産の商品を優先して購入していますか。(ひとつに○)

地元産の商品を優先して購入しているかについてみると、「あまり気にしていない」が 44.5%と最も高く、次いで「できるだけ優先して購入」が 34.9%、「気にしていない」が 11.8%となっています。



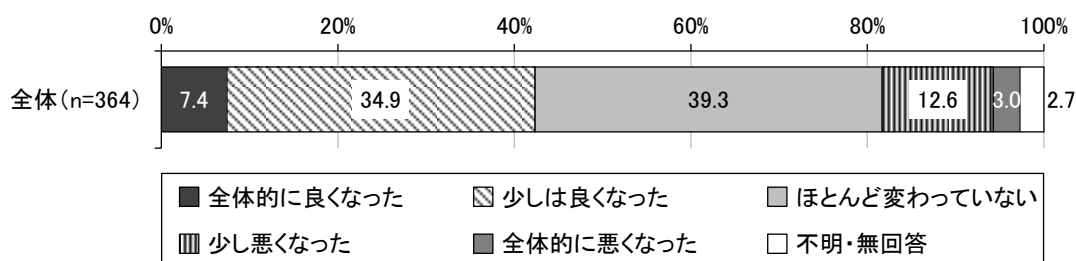
(11) 食品を購入する際に食品添加物を気にしますか。(ひとつに○)

食品を購入の際に食品添加物を気にするかについてみると、「ある程度気にして購入」が 46.2%と最も高く、次いで「あまり気にしていない」が 29.7%、「いつも気にして購入」が 12.1%となっています。



(12) 日野町の生活環境が以前（10 年程前）と比べ、どのように変わってきていると思いますか。
（ひとつに○）

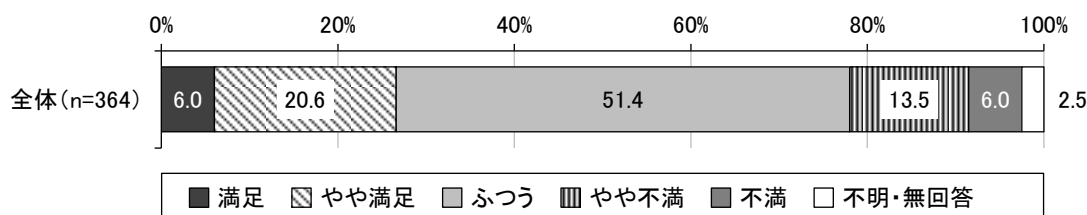
以前（10 年程前）と比較した日野町的生活環境の変化についてみると、「ほとんど変わっていない」が 39.3%と最も高く、次いで「少しは良くなった」が 34.9%、「少し悪くなった」が 12.6%となっています。



(13) 日野町的生活環境についての満足度はどの程度ですか。（ひとつに○）

日野町的生活環境の満足度についてみると、「ふつう」が 51.4%と最も高く、次いで「やや満足」が 20.6%、「やや不満」が 13.5%となっています。

年代別にみると、10～20 代では「やや満足」「不満」、その他の年代では「ふつう」が最も高くなっています。



単位: %	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	不明・無回答
全体(n=364)	6.0	20.6	51.4	13.5	6.0	2.5
10～20代(n=16)	12.5	31.3	18.8	6.3	31.3	0.0
30代(n=26)	11.5	23.1	50.0	7.7	7.7	0.0
40代(n=49)	4.1	18.4	55.1	16.3	6.1	0.0
50代(n=54)	5.6	22.2	44.4	20.4	5.6	1.9
60代(n=85)	1.2	20.0	56.5	18.8	2.4	1.2
70代以上(n=129)	7.8	19.4	53.5	8.5	5.4	5.4

地区別にみると、すべての地区で「ふつう」が最も高くなっており、東桜谷地区で7割台となっています。

単位：%	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	不明・無回答
全体(n=364)	6.0	20.6	51.4	13.5	6.0	2.5
日野地区(n=132)	9.1	24.2	48.5	12.9	4.5	0.8
東桜谷地区(n=25)	0.0	20.0	76.0	4.0	0.0	0.0
西桜谷地区(n=24)	0.0	12.5	62.5	4.2	12.5	8.3
西大路地区(n=37)	2.7	16.2	51.4	16.2	8.1	5.4
鎌掛地区(n=17)	5.9	17.6	41.2	17.6	11.8	5.9
南比都佐地区(n=44)	6.8	15.9	50.0	15.9	6.8	4.5
必佐地区(n=80)	5.0	22.5	47.5	17.5	6.3	1.3

(理由の代表的な例 満足)

交通に関すること (チョイソコひの)	変わらない良さもある
買い物 (大型スーパー等) が便利	ごみの回収が多くてありがたい
災害が少ない	自然が多い、緑が豊か、ちょうどよい田舎
穏やかな街	不便なことが少ない
病院もそれなりにある	松尾公園リニューアル

(理由の代表的な例 不満足)

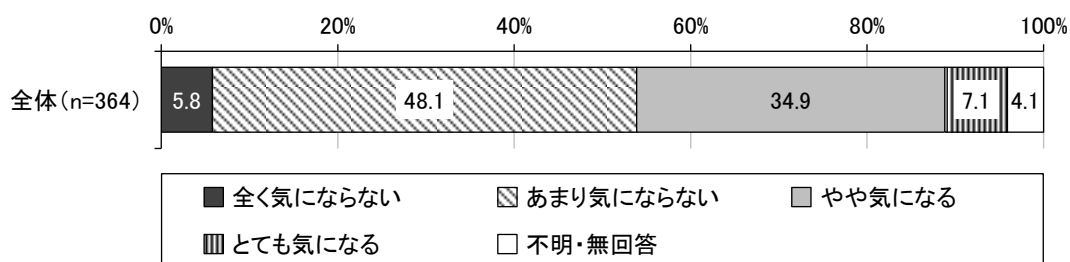
交通に関すること (車がないと不便、公共交通が少ない、タクシーが少ない、坂道が多い)	
道幅が狭いので車と接触が多い	空き家に関すること
商店 (24 時間営業、衣料品店) が少ない	公共施設が少ない
獣害に関すること	除雪が遅い
娯楽施設がない	人口減少
活気がない、刺激がない	福祉施設が少ない
下水道の整備	何も変わらないところが不満

6 お住まいの周辺の自然環境について

(1) 町内の河川の汚れについてどう感じていますか。(ひとつに○)

町内の河川の汚れをどう感じているかについてみると、「あまり気にならない」が48.1%と最も高く、次いで「やや気になる」が34.9%、「とても気になる」が7.1%となっています。

地区別にみると、東桜谷地区・西桜谷地区では「やや気になる」、その他の地区では「あまり気にならない」が最も高くなっています。

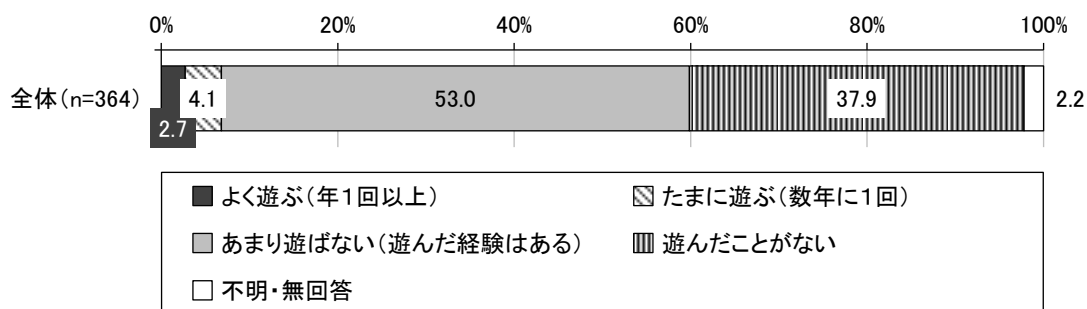


単位: %	全く気にならない	あまり気にならない	やや気になる	とても気になる	不明・無回答
全体(n=364)	5.8	48.1	34.9	7.1	4.1
日野地区(n=132)	8.3	47.0	34.1	6.8	3.8
東桜谷地区(n=25)	0.0	32.0	64.0	4.0	0.0
西桜谷地区(n=24)	8.3	37.5	45.8	4.2	4.2
西大路地区(n=37)	5.4	54.1	21.6	5.4	13.5
鎌掛地区(n=17)	11.8	52.9	29.4	5.9	0.0
南比都佐地区(n=44)	2.3	47.7	38.6	6.8	4.5
必佐地区(n=80)	3.8	53.8	28.7	11.3	2.5

(2) あなたは日野町内の河川で遊んだことがありますか。(ひとつに○)

日野町内の河川で遊んだことがあるかについてみると、「あまり遊ばない(遊んだ経験はある)」が53.0%と最も高く、次いで「遊んだことがない」が37.9%、「たまに遊ぶ(数年に1回)」が4.1%となっています。

地区別にみると、すべての地区で「あまり遊ばない(遊んだ経験はある)」が最も高くなっており、東桜谷地区で7割台となっています。

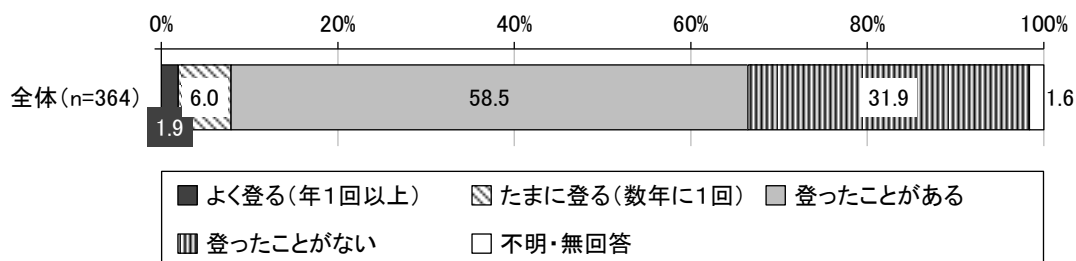


単位: %	よく遊ぶ (年1回以上)	たまに遊ぶ (数年に1回)	あまり遊ばない (遊んだ経験はある)	遊んだことがない	不明・無回答
全体(n=364)	2.7	4.1	53.0	37.9	2.2
日野地区(n=132)	3.0	3.8	48.5	43.2	1.5
東桜谷地区(n=25)	0.0	4.0	76.0	16.0	4.0
西桜谷地区(n=24)	4.2	4.2	54.2	33.3	4.2
西大路地区(n=37)	5.4	8.1	54.1	27.0	5.4
鎌掛地区(n=17)	5.9	5.9	64.7	17.6	5.9
南比都佐地区(n=44)	2.3	4.5	52.3	38.6	2.3
必佐地区(n=80)	1.3	2.5	48.8	47.5	0.0

(3) あなたは綿向山に今まで登ったことがありますか。(ひとつに○)

綿向山に今まで登ったことがあるかについてみると、「登ったことがある」が 58.5%と最も高く、次いで「登ったことがない」が 31.9%、「たまに登る（数年に1回）」が 6.0%となっています。

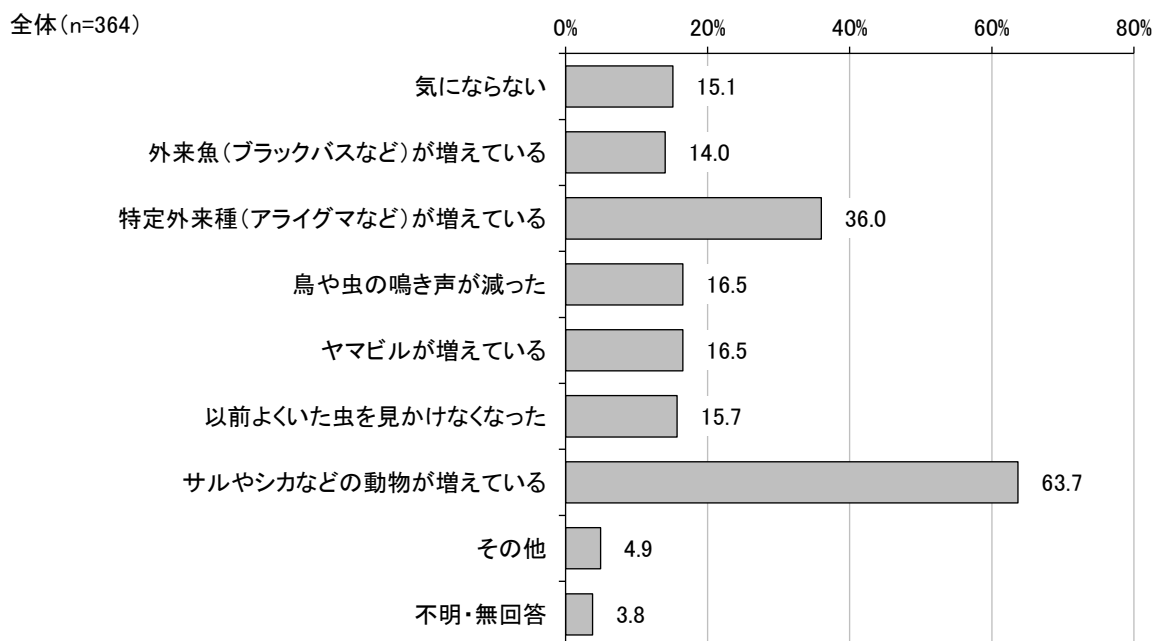
地区別にみると、すべての地区で「登ったことがある」が最も高くなっており、東桜谷地区・西大路地区・必佐地区で6割台となっています。



単位: %	よく登る (年1回以上)	たまに登る (数年に1回)	登ったことがある	登ったことがない	不明・無回答
全体(n=364)	1.9	6.0	58.5	31.9	1.6
日野地区(n=132)	0.8	4.5	55.3	37.9	1.5
東桜谷地区(n=25)	4.0	4.0	64.0	28.0	0.0
西桜谷地区(n=24)	0.0	8.3	58.3	33.3	0.0
西大路地区(n=37)	2.7	16.2	62.2	13.5	5.4
鎌掛地区(n=17)	0.0	5.9	52.9	35.3	5.9
南比都佐地区(n=44)	4.5	4.5	59.1	29.5	2.3
必佐地区(n=80)	2.5	3.8	61.3	32.5	0.0

(4) 周辺の自然環境の変化について、気になることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

周辺の自然環境の変化で気になることについてみると、「サルやシカなどの動物が増えている」が63.7%と最も高く、次いで「特定外来種（アライグマなど）が増えている」が36.0%、「鳥や虫の鳴き声が減った」「ヤマビルが増えている」が16.5%となっています。

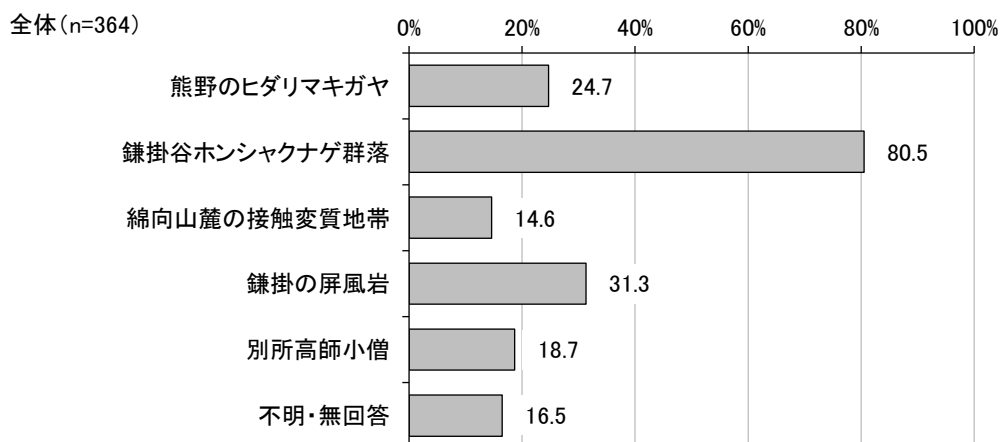


(4-1) 以前よくいた虫を見かけなくなった虫は何虫(どんな虫)ですか。

赤とんぼ (アキアカネ)	タガメ
アブラゼミ	アメンボ
いなご	ザリガニ
カブトムシ	オニヤンマ
こおろぎ	タマムシ
ほたる	蝶々
キリギリス	はえ
バッタ	蚊
ゲンゴロウ	ゴキブリ
ハゼ	ネズミ
スズムシ	へび
マツムシ	とかげ
クツワムシ	鳥 (ヒバリ)

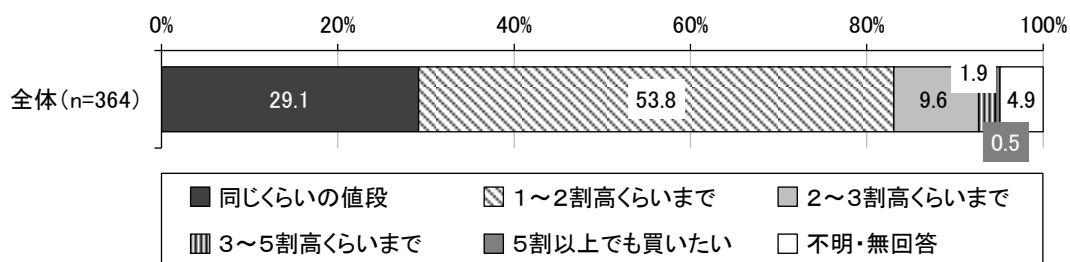
(5) 知っている町内の天然記念物は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

町内の天然記念物で知っているものについてみると、「鎌掛谷ホンシャクナゲ群落」が 80.5%と最も高く、次いで「鎌掛の屏風岩」が 31.3%、「熊野のヒダリマキガヤ」が 24.7%となっています。



(6) 無農薬で作られた農産物を何割高までなら買いたいと思いますか。(ひとつに○)

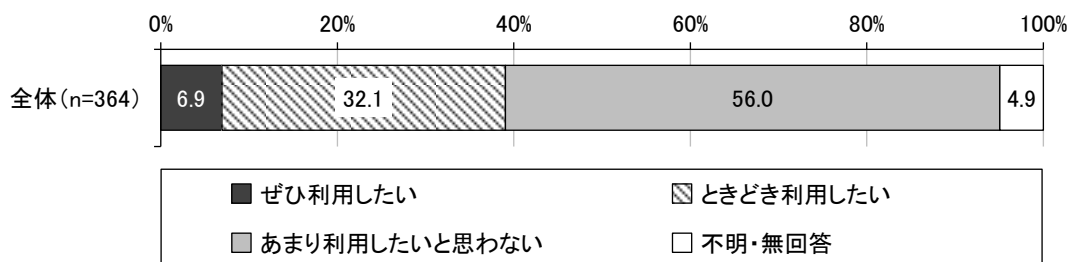
無農薬の農産物を何割高までなら買いたいと思うかについてみると、「1～2割高くらいまで」が 53.8%と最も高く、次いで「同じくらいの値段」が 29.1%、「2～3割高くらいまで」が 9.6%となっています。



(7) 町内のウォーキングルートや登山・トレイルコースを利用したいと思いますか。

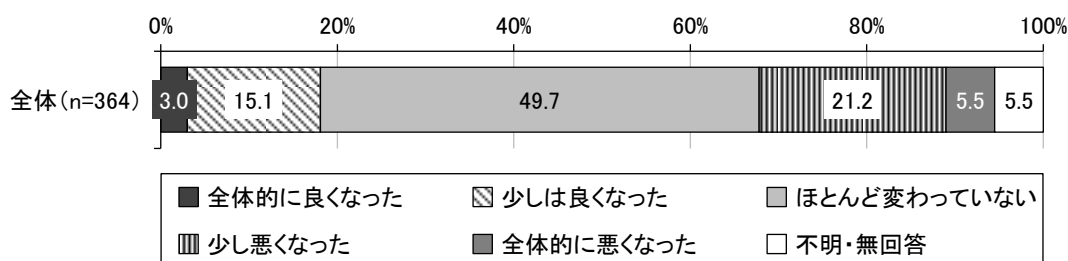
(ひとつに○)

町内のウォーキングルートや登山・トレイルコースの利用意向についてみると、「あまり利用したいと思わない」が 56.0%と最も高く、次いで「ときどき利用したい」が 32.1%、「ぜひ利用したい」が 6.9%となっています。



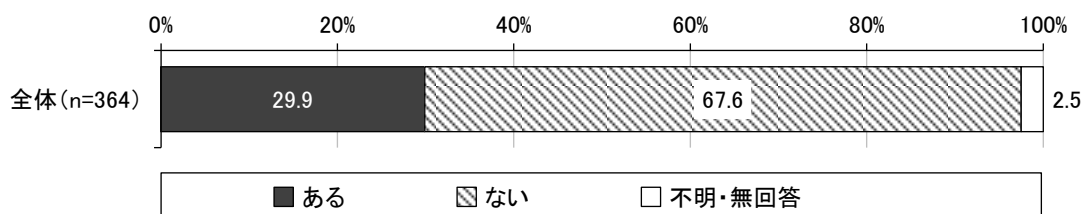
(8) 日野町の自然環境が以前(10年程前)と比べ、どのように変わってきていると思いますか。
(ひとつに○)

以前(10年程前)と比較した日野町の自然環境の変化についてみると、「ほとんど変わっていない」が49.7%と最も高く、次いで「少し悪くなった」が21.2%、「少しは良くなった」が15.1%となっています。



(9) 日野町内で、ご自身が所有されている山林はありますか。(ひとつに○)

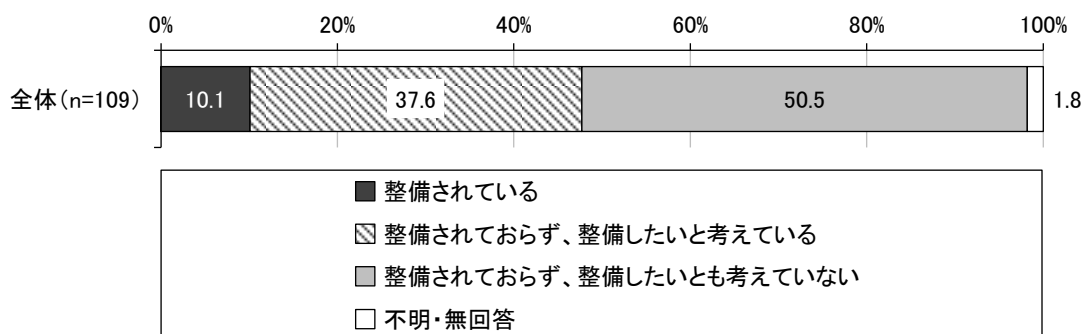
日野町内で所有する山林の有無についてみると、「ない」が67.6%と、「ある」の29.9%を上回っています。



「ある」と回答された方

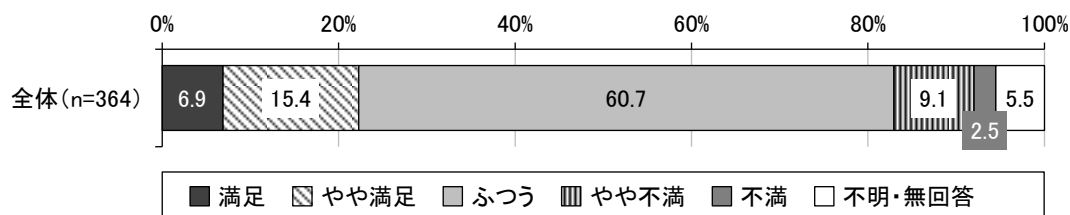
(9-1) 所有されている山林の整備はされていますか。また整備されていない場合は、整備したいと考えていますか。(ひとつに○)

所有する山林の整備状況についてみると、「整備されておらず、整備したいとも考えていない」が50.5%と最も高く、次いで「整備されておらず、整備したいと考えている」が37.6%、「整備されている」が10.1%となっています。



(10) 日野町の自然環境についての満足度はどの程度ですか。(ひとつに○)

日野町の自然環境の満足度についてみると、「ふつう」が 60.7%と最も高く、次いで「やや満足」が 15.4%、「やや不満」が 9.1%となっています。



(理由の代表的な例 満足)

自然が残っている（あまり変わっていない）、ちょうどいい田舎
四季が感じられる、緑が豊か、山や緑が美しい
道路の整備でよかった

(理由の代表的な例 不満)

あまり変わっていない
荒れた山林、田畑、後継者不足
今後（未来）が心配
害獣が増えた
花粉
草が多く歩きにくい、雑草が多い
山川の環境の放置
ダムでの魚釣りができないところ
公園が少ない
自然豊かだが活用はできていないのではないか
道路が狭く危ない
今後（未来）が心配
人口減少、後継者不足

年代別にみると、すべての年代で「ふつう」が最も高くなっており、30代、50代、60代では6割台となっています。

地区別にみると、すべての地区で「ふつう」が最も高くなっており、日野地区・東桜谷地区・西桜谷地区・必佐地区では6割台となっています。

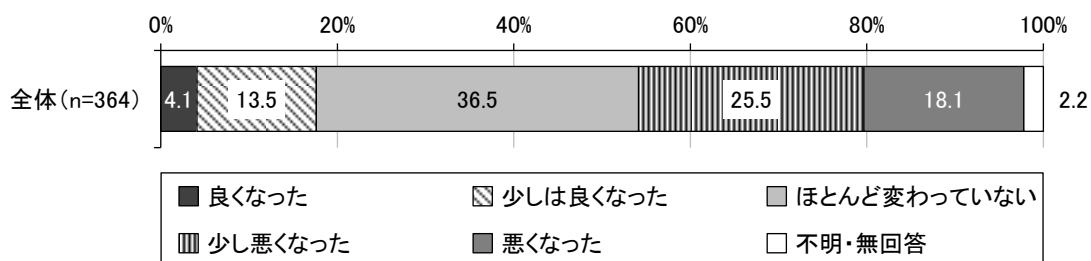
単位：％	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	不明・無回答
全体(n=364)	6.9	15.4	60.7	9.1	2.5	5.5
10～20代(n=16)	0.0	18.8	50.0	12.5	12.5	6.3
30代(n=26)	19.2	11.5	65.4	3.8	0.0	0.0
40代(n=49)	10.2	18.4	55.1	8.2	2.0	6.1
50代(n=54)	3.7	14.8	66.7	14.8	0.0	0.0
60代(n=85)	3.5	17.6	62.4	11.8	1.2	3.5
70代以上(n=129)	7.8	12.4	59.7	6.2	3.9	10.1

単位：％	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	不明・無回答
全体(n=364)	6.9	15.4	60.7	9.1	2.5	5.5
日野地区(n=132)	6.8	18.2	61.4	5.3	1.5	6.8
東桜谷地区(n=25)	4.0	20.0	64.0	12.0	0.0	0.0
西桜谷地区(n=24)	8.3	4.2	66.7	12.5	4.2	4.2
西大路地区(n=37)	10.8	10.8	56.8	5.4	8.1	8.1
鎌掛地区(n=17)	11.8	11.8	47.1	5.9	0.0	23.5
南比都佐地区(n=44)	4.5	15.9	50.0	22.7	4.5	2.3
必佐地区(n=80)	6.3	13.8	67.5	8.8	1.3	2.5

7 あなた自身の暮らしについて

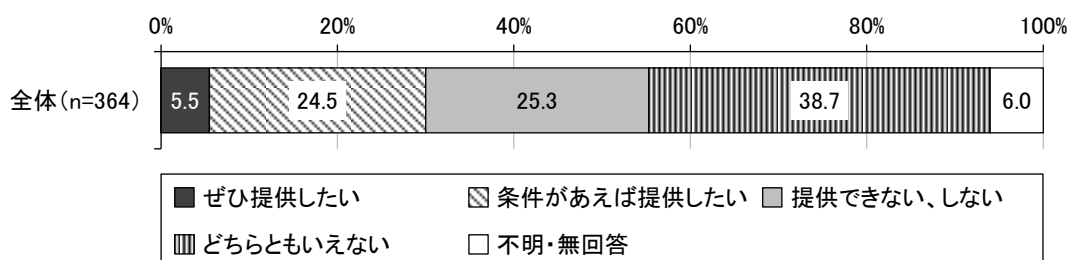
(1) あなたの経済状況が以前（10 年程前）と比べ、どのように変わりましたか。（ひとつに○）

以前（10 年程前）と比較した回答者の経済状況の変化についてみると、「ほとんど変わっていない」が 36.5%と最も高く、次いで「少し悪くなった」が 25.5%、「悪くなった」が 18.1%となっています。



(2) 地域の人々の暮らしを支え合う仕組みの一つとしてフードバンクの活動がおこなわれています。フードバンクへの食糧提供は可能ですか。（ひとつに○）

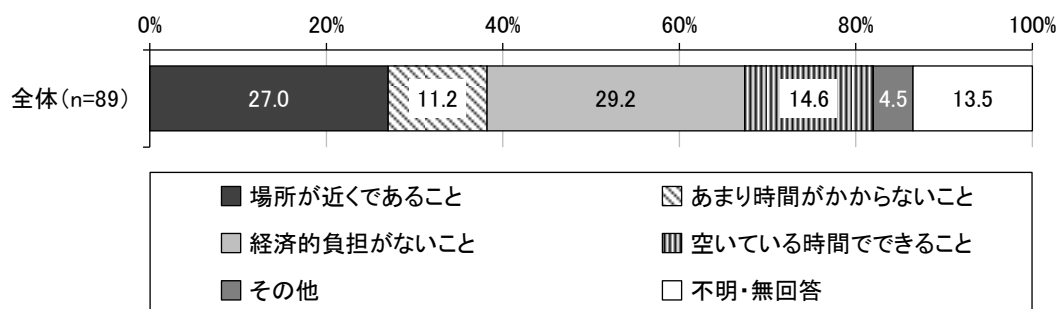
フードバンクへの食糧提供は可能かについてみると、「どちらともいえない」が 38.7%と最も高く、次いで「提供できない、しない」が 25.3%、「条件があれば提供したい」が 24.5%となっています。



「条件があれば協力したい」と回答された方

(2-1) どのような条件が整えば協力しやすいですか。（最もあてはまるひとつに○）

フードバンクに協力しやすい条件についてみると、「経済的負担がないこと」が 29.2%と最も高く、次いで「場所が近くであること」が 27.0%、「空いている時間でできること」が 14.6%となっています。

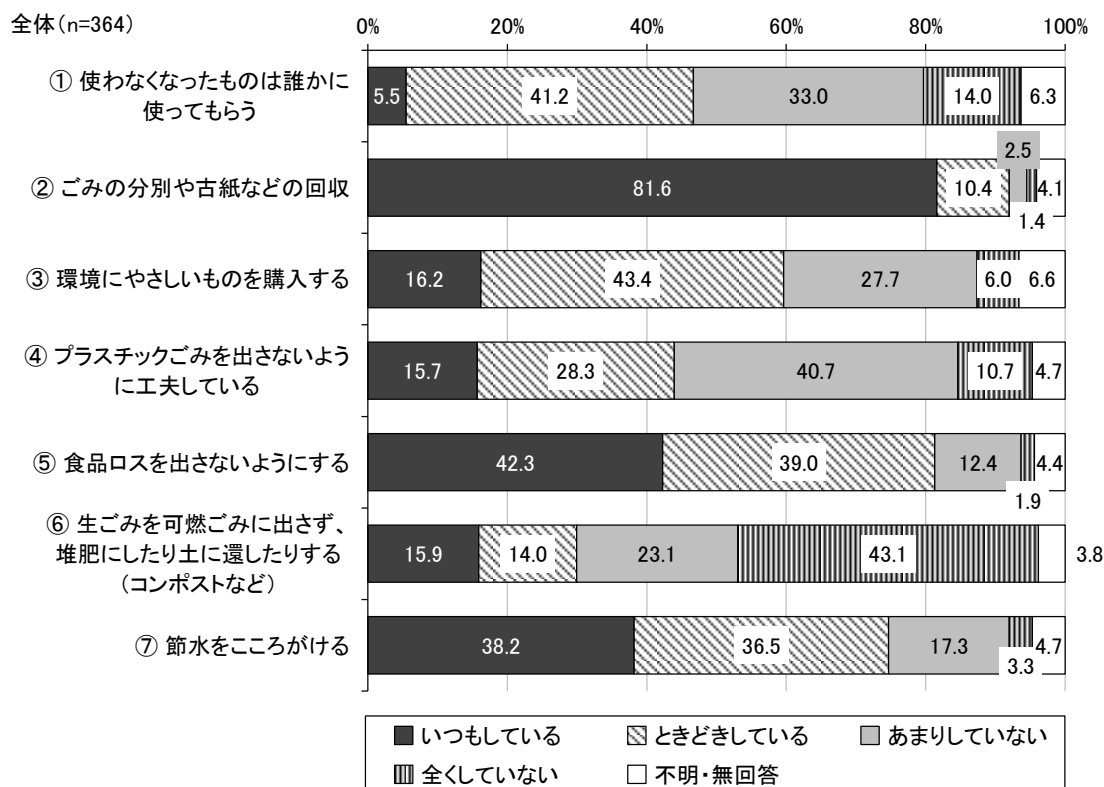


8 日常生活での環境への取り組みについて

(1) 日常生活の中で取り組んでいることについて該当する番号ひとつに○をつけてください。

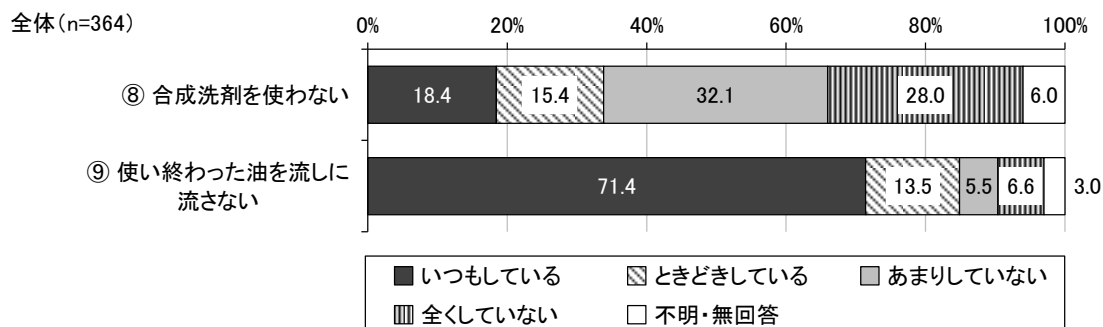
【限りある資源を大切にする】

限りある資源を大切にする取り組みについてみると、「② ごみの分別や古紙などの回収」〔⑤ 食品ロスを出さないようにする〕〔⑦ 節水をこころがける〕では『している』（「いつもしている」と「ときどきしている」の計）が7割以上と高くなっています。また、「④ プラスチックごみを出さないように工夫している」〔⑥ 生ごみを可燃ごみに出さず、堆肥にしたり土に還したりする〕では『していない』（「あまりしていない」と「全くしていない」の計）が5割以上と高くなっています。



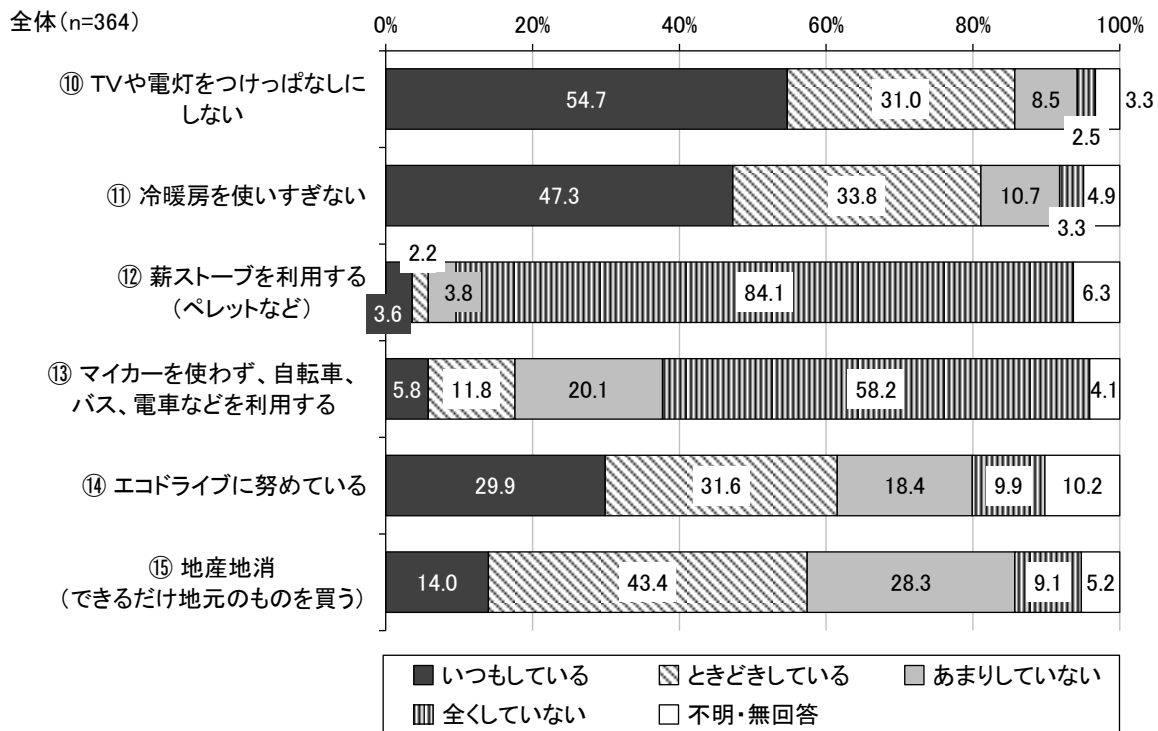
【川・湖を守る（生活排水）】

川・湖を守る（生活排水）取り組みについてみると、「⑨ 使い終わった油を流しに流さない」では『している』が8割台となっている一方、「⑧ 合成洗剤を使わない」では『していない』が6割台となっています。



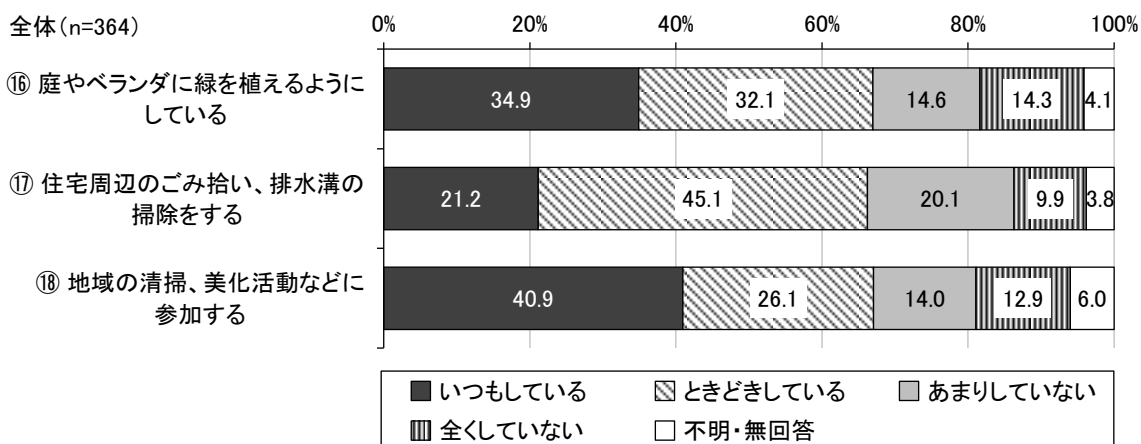
【省エネ（エネルギーを大切にする）】

省エネ（エネルギーを大切にする）取り組みについてみると、〔⑩ TVや電灯をつけっぱなしにしない〕〔⑪ 冷暖房を使いすぎない〕では『している』が8割以上と高くなっています。また、〔⑫ 薪ストーブを利用する（ペレットなど）〕〔⑬ マイカーを使わず、自転車、バス、電車などを利用する〕では『していない』が7割以上と高くなっています。



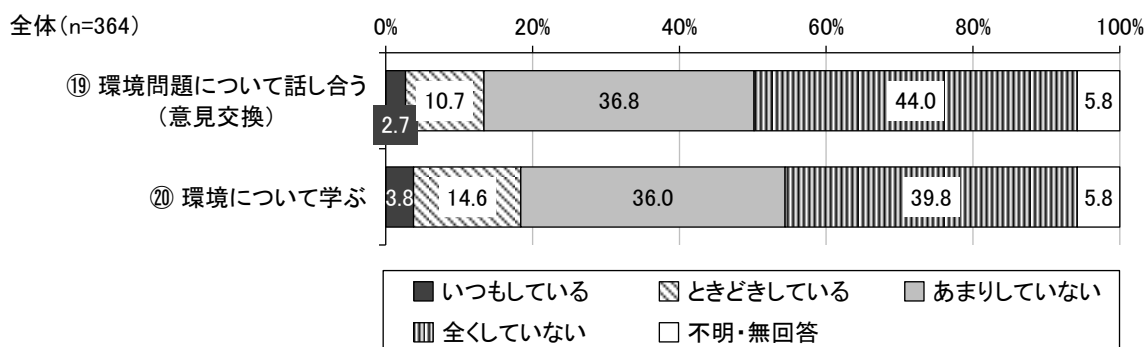
【身の回りの環境を美化する】

身の回りの環境を美化する取り組みについてみると、いずれの項目においても『している』が6割以上となっています。



【環境について話し合う・伝える】

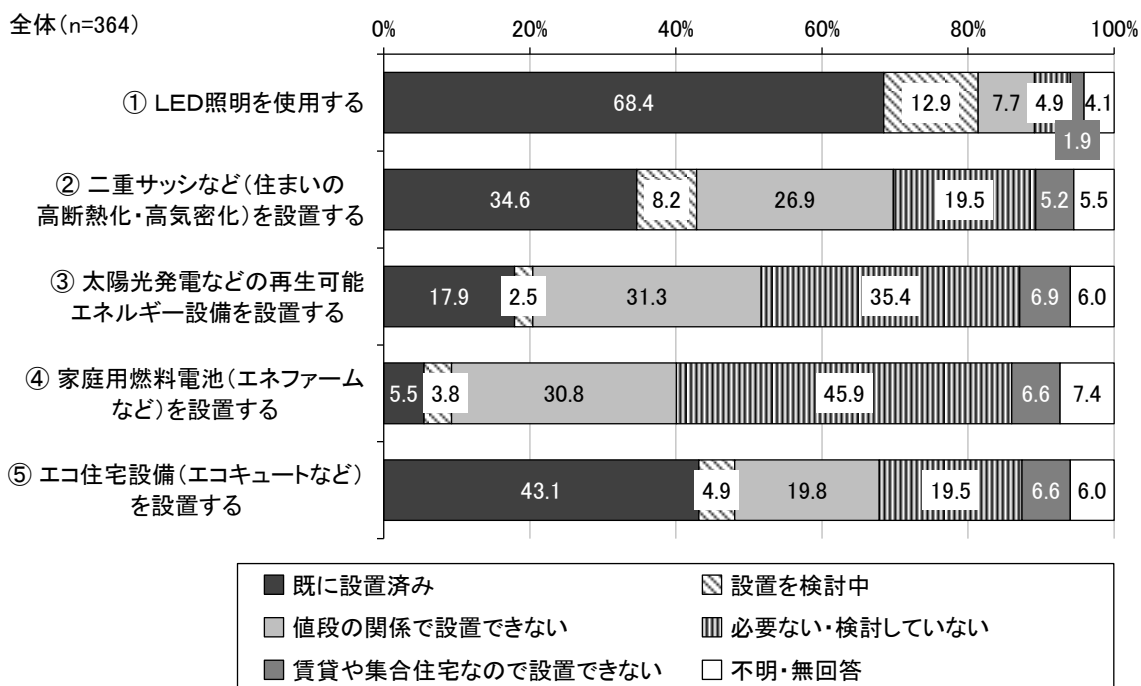
環境について話し合う・伝える取り組みについてみると、いずれの項目においても『していない』が7割以上となっています。



(2) ご自宅で行っていることについて該当する番号ひとつに○をつけてください。

【住宅を省エネ化する】

住宅を省エネ化する取り組みについてみると、〔① LED照明を使用する〕〔② 二重サッシなど (住まいの高断熱化・高気密化) を設置する〕〔⑤ エコ住宅設備 (エコキュートなど) を設置する〕では「既に設置済み」、〔③ 太陽光発電などの再生可能エネルギー設備を設置する〕〔④ 家庭用燃料電池 (エネファームなど) を設置する〕では「必要ない・検討していない」が最も高くなっています。

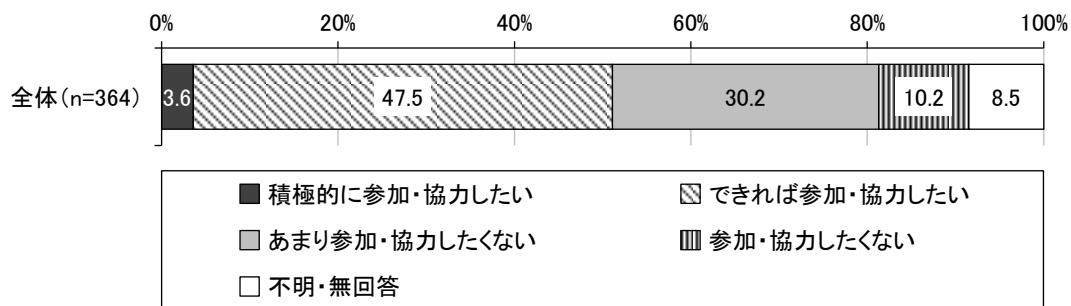


9 環境保全に関する活動への参加・協力について

(1) あなたは環境保全活動への参加・協力が可能ですか。(ひとつに○)

環境保全活動への参加・協力が可能かについてみると、「できれば参加・協力したい」が47.5%と最も高く、次いで「あまり参加・協力したくない」が30.2%、「参加・協力したくない」が10.2%となっています。

年代別にみると、10～20代では「できれば参加・協力したい」「あまり参加・協力したくない」、30代・40代では「あまり参加・協力したくない」、50代以上では「できれば参加・協力したい」が最も高くなっています。



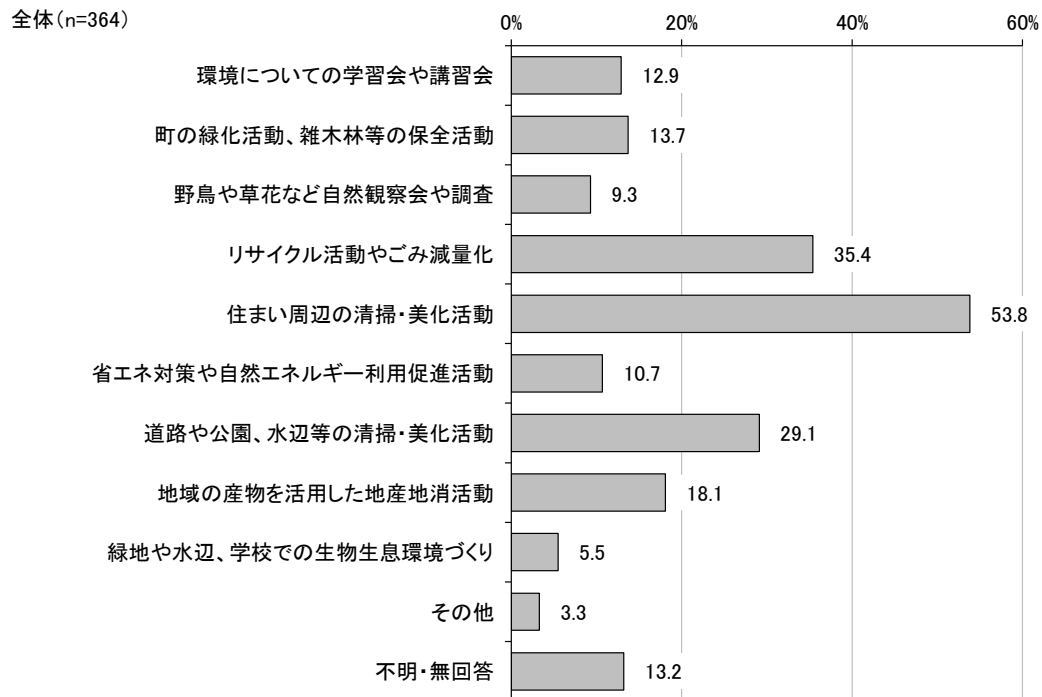
単位: %	積極的に参加・協力したい	できれば参加・協力したい	あまり参加・協力したくない	参加・協力したくない	不明・無回答
全体(n=364)	3.6	47.5	30.2	10.2	8.5
10～20代(n=16)	6.3	37.5	37.5	18.8	0.0
30代(n=26)	7.7	38.5	46.2	7.7	0.0
40代(n=49)	4.1	34.7	46.9	10.2	4.1
50代(n=54)	3.7	48.1	37.0	7.4	3.7
60代(n=85)	2.4	52.9	30.6	7.1	7.1
70代以上(n=129)	3.1	52.7	16.3	13.2	14.7

(2) どのような環境保全活動なら、参加や協力をしてみたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

参加や協力をしてみたい環境保全活動についてみると、「住まい周辺の清掃・美化活動」が 53.8%と最も高く、次いで「リサイクル活動やごみ減量化」が 35.4%、「道路や公園、水辺等の清掃・美化活動」が 29.1%となっています。

年代別にみると、10～20 代では「住まい周辺の清掃・美化活動」「地域の産物を活用した地産地消活動」、30 代では「リサイクル活動やごみ減量化」、40 代以上では「住まい周辺の清掃・美化活動」が最も高くなっています。

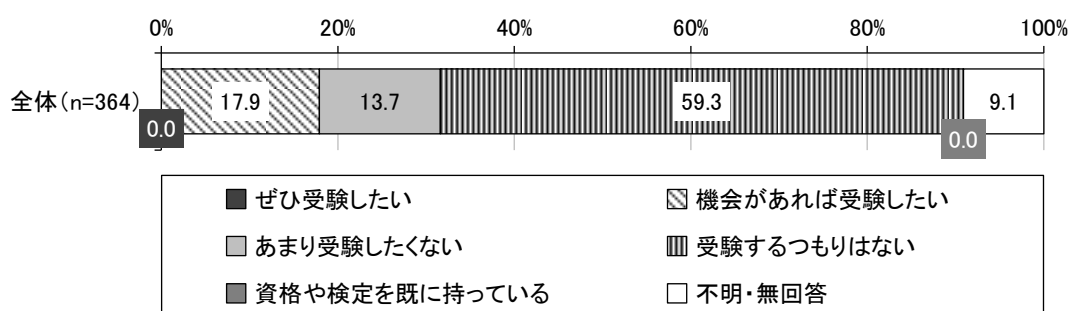


単位: %	環境についての学習会や講習会	町の緑化活動、雑木林等の保全活動	野鳥や草花など自然観察会や調査	リサイクル活動やごみ減量化	住まい周辺の清掃・美化活動	省エネ対策や自然エネルギー利用促進活動	道路や公園、水辺等の清掃・美化活動	地域の産物を活用した地産地消活動	緑地や水辺、学校での生物生息環境づくり	その他	不明・無回答
全体(n=364)	12.9	13.7	9.3	35.4	53.8	10.7	29.1	18.1	5.5	3.3	13.2
10～20代(n=16)	6.3	18.8	18.8	12.5	37.5	0.0	31.3	37.5	12.5	6.3	18.8
30代(n=26)	7.7	15.4	7.7	50.0	42.3	11.5	26.9	26.9	3.8	0.0	11.5
40代(n=49)	14.3	18.4	14.3	32.7	44.9	18.4	14.3	18.4	12.2	6.1	8.2
50代(n=54)	13.0	14.8	11.1	31.5	42.6	16.7	29.6	22.2	0.0	1.9	7.4
60代(n=85)	17.6	17.6	8.2	36.5	64.7	14.1	25.9	15.3	7.1	1.2	9.4
70代以上(n=129)	10.9	7.8	6.2	37.2	58.1	4.7	35.7	14.7	3.1	4.7	20.2

(3) エコや環境に関する資格や検定を受験したいと思いますか。既にお持ちの方はその資格・検定名をご記入ください。(ひとつに○)

エコや環境に関する資格や検定を受験したいと思うかについてみると、「受験するつもりはない」が59.3%と最も高く、次いで「機会があれば受験したい」が17.9%、「あまり受験したくない」が13.7%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「受験するつもりはない」が最も高くなっています。また、「機会があれば受験したい」は10～20代・30代で3割台となっています。



単位: %	ぜひ受験したい	機会があれば受験したい	あまり受験したくない	受験するつもりはない	資格や検定を既に持っている (資格・検定名)	不明・無回答
全体(n=364)	0.0	17.9	13.7	59.3	0.0	9.1
10～20代(n=16)	0.0	31.3	0.0	62.5	0.0	6.3
30代(n=26)	0.0	34.6	15.4	50.0	0.0	0.0
40代(n=49)	0.0	22.4	8.2	67.3	0.0	2.0
50代(n=54)	0.0	14.8	18.5	63.0	0.0	3.7
60代(n=85)	0.0	18.8	16.5	60.0	0.0	4.7
70代以上(n=129)	0.0	12.4	14.0	55.8	0.0	17.8

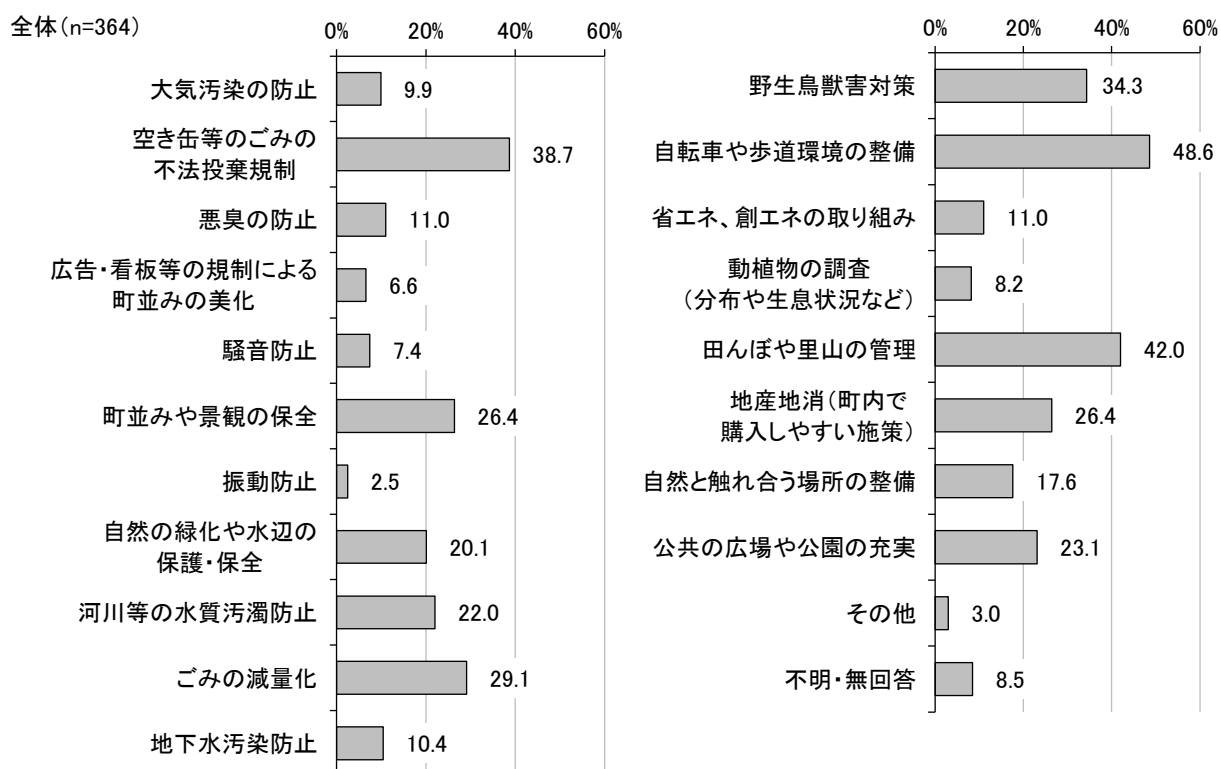
10 環境保全に関する町の施策について

(1) 日野町は、環境保全の中で何を優先して行うべきと考えますか。

(あてはまるものすべてに○)

日野町が優先して行うべきと考える環境保全についてみると、「自転車や歩道環境の整備」が 48.6%と最も高く、次いで「田んぼや里山の管理」が 42.0%、「空き缶等のごみの不法投棄規制」が 38.7%となっています。

年代別にみると、50代では「自転車や歩道環境の整備」「田んぼや里山の管理」、その他の年代では「自転車や歩道環境の整備」が最も高くなっています。



単位：％	大気汚染の防止	空き缶等のごみの不法投棄規制	悪臭の防止	広告・看板等の規制による町並みの美化	騒音防止	町並みや景観の保全	振動防止	全自然の緑化や水辺の保護・保	河川等の水質汚濁防止	ごみの減量化
全体(n=364)	9.9	38.7	11.0	6.6	7.4	26.4	2.5	20.1	22.0	29.1
10～20代(n=16)	12.5	25.0	6.3	12.5	18.8	18.8	12.5	12.5	18.8	12.5
30代(n=26)	3.8	38.5	3.8	7.7	3.8	19.2	3.8	26.9	23.1	26.9
40代(n=49)	14.3	38.8	12.2	4.1	8.2	32.7	0.0	28.6	18.4	26.5
50代(n=54)	9.3	40.7	7.4	9.3	5.6	35.2	1.9	20.4	13.0	27.8
60代(n=85)	7.1	35.3	8.2	4.7	4.7	27.1	2.4	18.8	20.0	30.6
70代以上(n=129)	10.9	42.6	16.3	6.2	9.3	21.7	2.3	16.3	29.5	31.8

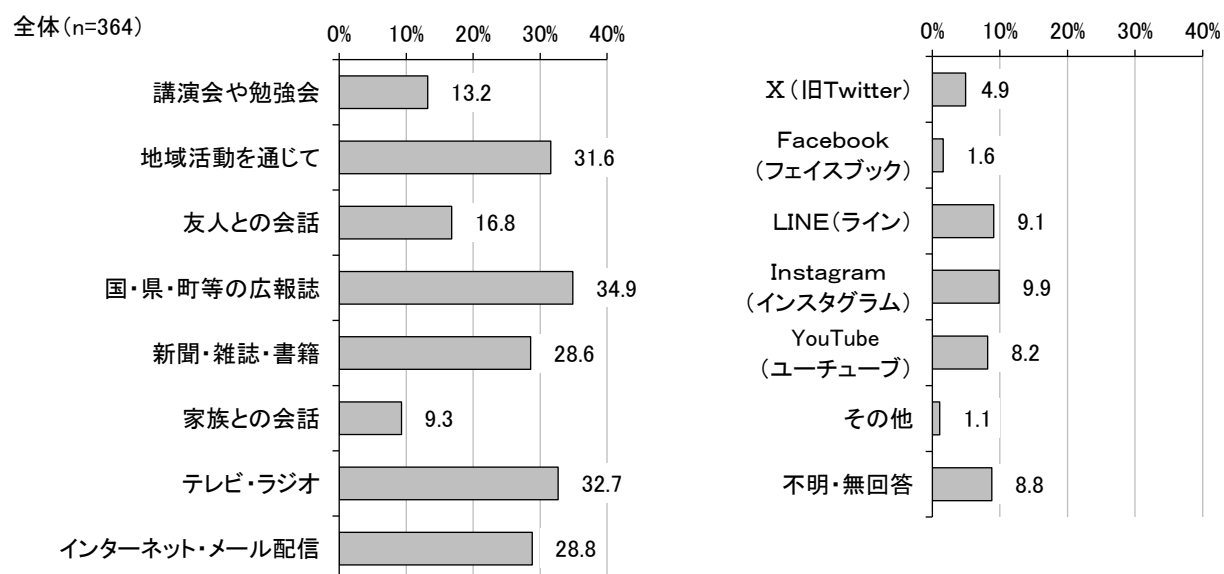
単位：％	地下水汚染防止	野生鳥獣害対策	自転車や歩道環境の整備	省エネ、創エネの取り組み	動植物の調査（分布や生息状況など）	田んぼや里山の管理	地産地消（町内で購入しやすい施策）	自然と触れ合う場所の整備	公共の広場や公園の充実	その他	不明・無回答
全体(n=364)	10.4	34.3	48.6	11.0	8.2	42.0	26.4	17.6	23.1	3.0	8.5
10～20代(n=16)	12.5	25.0	62.5	12.5	12.5	37.5	18.8	31.3	43.8	6.3	12.5
30代(n=26)	3.8	26.9	46.2	7.7	7.7	38.5	26.9	19.2	42.3	0.0	0.0
40代(n=49)	6.1	24.5	51.0	12.2	10.2	30.6	30.6	20.4	30.6	2.0	4.1
50代(n=54)	9.3	33.3	51.9	18.5	7.4	51.9	27.8	16.7	16.7	1.9	3.7
60代(n=85)	10.6	40.0	49.4	12.9	8.2	41.2	28.2	12.9	23.5	7.1	4.7
70代以上(n=129)	14.0	38.0	45.7	6.2	7.8	45.0	24.0	17.1	16.3	1.6	15.5

II 環境に関する情報提供について

(1) あなたが環境に関する情報を入手したい場合、どの媒体で情報提供を行うと分かりやすいですか。(あてはまるもの3つに○)

環境に関する情報提供をどの媒体で行うと分かりやすいかについてみると、「国・県・町等の広報誌」が34.9%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」が32.7%、「地域活動を通じて」が31.6%となっています。

年代別にみると、10～20代では「Instagram (インスタグラム)」、30～50代では「インターネット・メール配信」、60代以上では「国・県・町等の広報誌」が最も高くなっています。



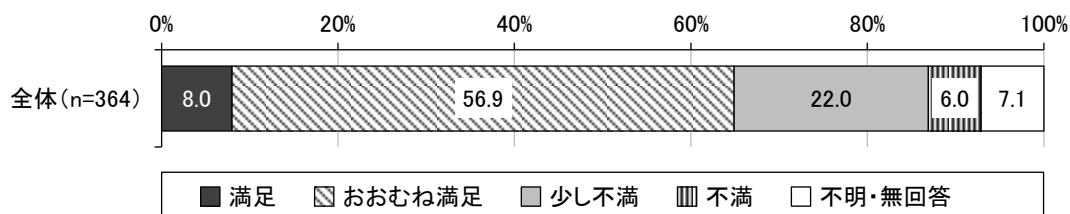
単位: %	講演会や勉強会	地域活動を通じて	友人との会話	国・県・町等の広報誌	新聞・雑誌・書籍	家族との会話	テレビ・ラジオ	インターネット・メール配信	X (旧Twitter)	Facebook (フェイスブック)	LINE (ライン)	Instagram (インスタグラム)	YouTube (ユーチューブ)	その他	不明・無回答
全体 (n=364)	13.2	31.6	16.8	34.9	28.6	9.3	32.7	28.8	4.9	1.6	9.1	9.9	8.2	1.1	8.8
10～20代 (n=16)	0.0	6.3	25.0	0.0	12.5	0.0	18.8	43.8	31.3	0.0	25.0	50.0	31.3	6.3	0.0
30代 (n=26)	3.8	23.1	11.5	30.8	15.4	7.7	34.6	53.8	19.2	3.8	11.5	30.8	11.5	0.0	0.0
40代 (n=49)	8.2	26.5	12.2	24.5	16.3	8.2	22.4	32.7	4.1	2.0	14.3	20.4	12.2	2.0	0.0
50代 (n=54)	11.1	20.4	9.3	22.2	33.3	13.0	40.7	46.3	7.4	0.0	11.1	11.1	11.1	1.9	7.4
60代 (n=85)	18.8	38.8	10.6	42.4	32.9	5.9	34.1	32.9	1.2	3.5	8.2	4.7	8.2	1.2	5.9
70代以上 (n=129)	15.5	38.8	25.6	43.4	33.3	12.4	34.9	10.9	0.8	0.8	4.7	0.0	1.6	0.0	17.1

12 日野町での暮らしについて

(1) 日野町での暮らしについてどう感じていますか。(ひとつに○)

日野町での暮らしをどう感じているかについてみると、「おおむね満足」が 56.9%と最も高く、次いで「少し不満」が 22.0%、「満足」が 8.0%となっています。

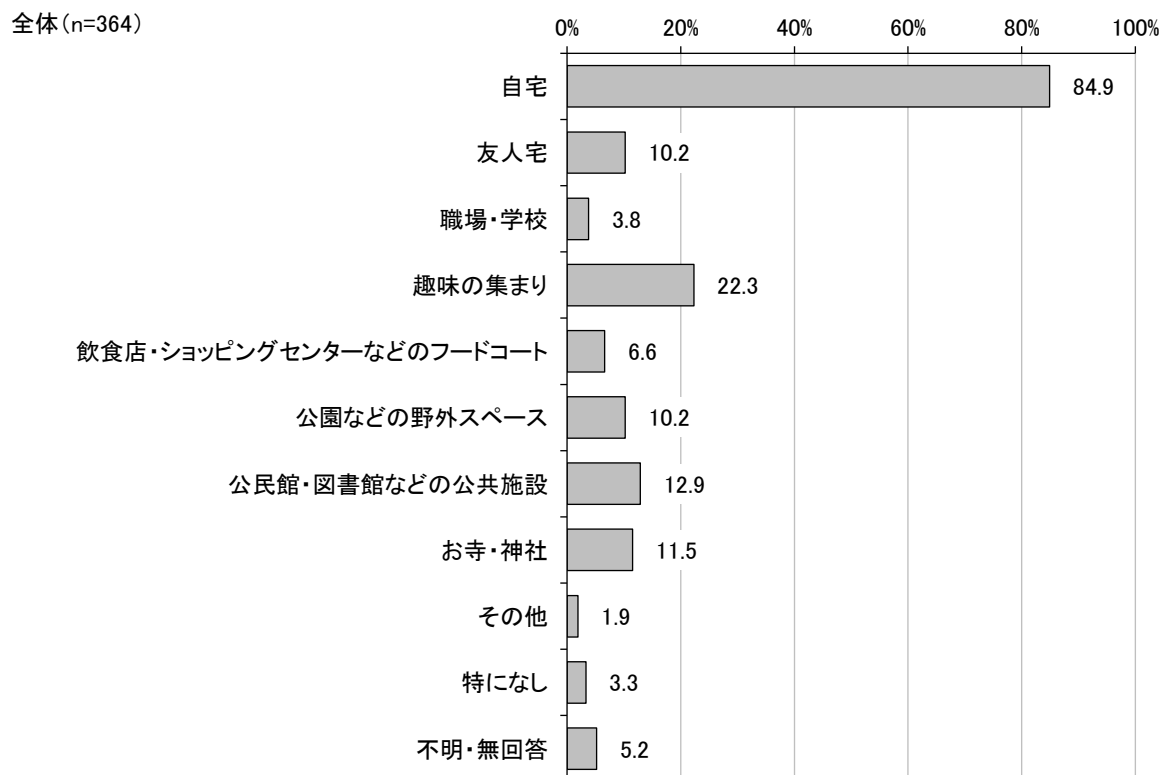
年代別にみると、すべての年代で「おおむね満足」が最も高くなっており、40代では6割台となっています。



単位: %	満足	おおむね満足	少し不満	不満	不明・無回答
全体 (n=364)	8.0	56.9	22.0	6.0	7.1
10～20代 (n=16)	12.5	50.0	25.0	12.5	0.0
30代 (n=26)	7.7	53.8	30.8	7.7	0.0
40代 (n=49)	8.2	61.2	16.3	12.2	2.0
50代 (n=54)	5.6	59.3	25.9	7.4	1.9
60代 (n=85)	4.7	58.8	25.9	3.5	7.1
70代以上 (n=129)	10.9	52.7	18.6	3.9	14.0

(2) あなたの居心地がよいと思える場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

居心地がよいと思える場所についてみると、「自宅」が 84.9%と最も高く、次いで「趣味の集まり」が 22.3%、「公民館・図書館などの公共施設」が 12.9%となっています。



（３）日野町の好きなところをお聞かせください。（代表的な例）

自然が豊か。落ち着いて生活できるところ。のどかなところ
人が優しく接してくれるところ。近所のお付き合い
人情（町民気質）があり、ほど良い田舎暮らしが出来るところ「日野町大好き人間」が多い
交通整備が進んでいる
公民館が充実している
旧島崎善兵衛家の保全など積極的なボランティア活動
固定資産税が比較的安い
程よい人口、顔が見える人口規模、今も近所付き合いがある、田舎の雰囲気
住民自治の気持ちが強い
日野祭が続いている事（地元の方々に感謝）
特産品の日野菜は他地域の人々にも自慢出来るし、日野菜漬をプレゼントしても大変喜ばれる
病院やスーパーなどあって、こじんまりして住みやすい
田舎ではあるけれど結果残った他の自治会にはない自然と文化、大都会との微妙な距離
自然を守りつつ、街が発展していけるといいな
災害もなく住みやすい
合併しなかった事で自治体の大きさがちょうど良い
環境が良くて町民の人達もいい。最近マルシェとか色々イベントがあって、他県からも観光に来る人も増えた
山も川もあり、アウトドア派の人ならキャンプや釣りも出来る。四季折々の花もあって空が広く空気がきれい
行事が少ないところ
看板などの規制による美化されてきた
町営バスがあるので高齢者も出掛けやすい。福祉（公的扶助やサービス）が充実
町役場の利用がスムーズ
田んぼ道の中の自転車道
図書館が良い。他町市との比較でも秀れている
広く知られていないが探せば歴史や自然など興味あるものが多い
福祉関係、医療関係の充実しているところ
水もお米も美味しいです
子育てにはよいかも

（４）日野町の足りないところをお聞かせください。（代表的な例）

公共交通が少ない。道路の草刈りの徹底。街灯が少ない
周辺（南北、桜谷、鎌掛、西大路）エリアへの対策がない
新しい枠組みで考えて学校なども再編していくべき、学力の低下
若い人にとっての魅力。若者が少ない（子どもが大学など進学によって戻って来ない）
若い世代（中高生）への地元の良さ発信力、住み続けられる環境や仕事
子育て支援が不十分、児童館や保育園をもっと拡大するべき、情報が少ない
若者の町内活動への参加
経済活動、若者の雇用の受け皿となる大企業
女性や子育て中のお母さんたちが働ける場をもっと欲しい
宿泊施設や 24 時間営業のスーパーが少ない
遊び場所、アミューズメント（カラオケ、ボウリング、温泉施設）、飲食店、公園
スポーツ設備が少ない、スポーツ大会の誘致
空き家対策。サークル活動の場所が無い（公民館の貸し出し）
猛暑の時に過ごせるエアコンのある快適な場を増やしてほしい
高齢者対策。高齢者施設の充実。医療施設の充実
野焼きが多い。焼却炉などの臭気
環境施策（美化）に対しての住民の意識が低い
森林や動物を守っていく取り組み
田んぼや里山の管理がされてない、獣害対策
自然学習の場
行政サービスが遅い、情報発信が少ない
行政も自治会も高齢化や少子化など社会情勢の変化に対応出来ていない
ゴミの減量
コロナで人間関係がつながりにくくなっていると感じる。地域コミュニケーション
新たに住む人の地域行事への不参加
社会的弱者が生き生きと暮らせるような仕組み
日々の暮らしの中から幸福度を高めようという動きが足りない
積極的に行動しようとする人が少ない
町民税が高い
昔のままで変化があまりない
役場周りの駐車場の減少
伝統や文化を活用した活性化対策
古い考え方

(5) 環境を良くするためのアイデアやご意見、環境を良くするために町民と事業者、行政が協力して行う活動などについて、ご提案等がありましたら、お書きください。

※できるだけ原文で載せています

環境整備について《農地》	
	近年、田んぼの耕作者が減り、1人の耕作者が何町歩も作られています。そのため、田んぼの周囲の草刈りが出来ない状況が出てきている。そのため、公共道路（農道、町道、県道、国道）の路肩の雑草も刈られていない状況が多々見受けられるようになりました。これはあまり良い状況ではありません。そこで各自治会に依頼して、その自治会のエリア内の全ての道路はその路肩の草刈りをして頂けるよう自治会長（区長）と委託契約を結んで年間を通して草刈りをしてもらえるようにしてはどうですか。そうすれば町内の道路は年間を通じて草の繁茂がなく、道路は美しい環境が保たれると思います。ぜひ検討をお願いします
	色々な所で提案していますが、滋賀ではJAが農業の生産力に加わる事がないです。しかし、日野町は畜技センターのキャトルステーションなど生産に関わる事をしてます。石原区は農業後継者もなく、衰退してます。行政の力で農地保全へ向けていただきたい。石原区の農地を畜技センターの放牧。飼料作りに県で取り組んで頂きたい
	・人が住まなくなった家や土地の固定資産税免除 ・作り手がなくなった田畑の整備環境
	今、田んぼや山林を農業者で管理しています。しかし、ほとんど60～80才の人達で我々がなくなったら・・・「役場が何とかしてくれるだろう」と言ってます。でも大変だと思います。もし水口の松尾のように耕作放棄の田が国道307に広がり近隣の町に獣が出るような事態になれば日野町に大きな打撃となります。今のうちに町民などで管理する体制を考えないと、森林税などで金がいくらでも必要となるのでよろしく
	町内で企業誘致、進出で経済的に潤っている字が多々あります。「小さな誘致」でも手を挙げて当字にも恩恵が欲しいです。「田畑が余って来ます！」日野町が残れる様に！早急に！企業の補佐も大事！ ＊遠い者に「里と山の距離」10mと立案されて実施は5mかな？今現在は0m今一度の見直しを望みます。山の雑木が被さって来ます！一人居では手に負えません！
	仕事で毎日車で走っていると内池あたりの広く形良く並んでいる田畑がいつの間にか草だらけである。まして南北の山に囲まれた字も竹が生い茂り、手が入らない田畑も見られる。各字による営農組合も年々高齢化し、10年内には緑、美しき日野ではなく、草だらけの日野になるのではないかと不安を感じる。先日、同級会に行って来た。近江八幡にて会食後、全員でロープウェイに乗り八幡山に上がり下界を見下ろした。美しい町並みきれいな田が並んでいた。友人は定年退職後5人程で55町の田の監理をしていると言っていた。誰かがせんならんさかいなあとのこと。1千万円単位のお金が動くとのこと。我が家など5たん程の田を作るのにJAへの支払い、米の引き取り代、利益など出ない事もつくづくわかった。昨日も猿が10匹、道や田にむれていた。電柵をしないと農作物は何も取れない地域である。先祖から受け継いだ田、山が重荷になっている。税金対策もお願いしたい
	我が家には田畑がありません。ないこともないのですが、猫のひたいほどの広さです。無農薬や有機野菜を頂くと嬉しさとうらやましさを感じていました。一方で耕作放棄地も所々見られます。よく空き家バンクで人と空き家をつなぐ制度（サービス）がありますが、その空き田畑バージョンがあればなあと思います

環境整備について《生活環境》	
	大きなバスではなく、小型の自動車が良いので、運行回数を増やして欲しい
	先ず、これから先の懸念点は交通利便性についてです。将来公共の交通機関を利用したいと存じます。極力、運転は避けたいためです。多様・複雑化する課題にどのように取り組めばよりよく生活環境へと変わるのでしょ。各々が環境への意識を高めるためにも今後は町民と行政との協働と推進していくことで改革の新しい可能性をひらけるのではないのでしょうか。自助・公助の連携を強め将来を嘱望できますように“誰もが憧れる”日野町になりますように！！夢のような内容かも知れませんが・・・過去にLRT（路面電車）の走るまち富山県の運行状況を見入り心を引き寄せられました。実際に？現実化されているので、出来ない事ではないと思うのですが、LRTとまでは申しませんが何か公共交通機関の発展を切に切に望みます。浅学非才にもかかわらず思い付くまま述べました。お許しください
	ちょこっとコバスの停車場を字に1ヶ所は必ず設置して下さい。（タクシーは千円かかります）
	近江鉄道でもICOCAが使えるようにならないのか
	済むところ、働くところ、移動手段、生活環境（商業施設や公共施設など）の整備
	町内には高校が1校で町外の高校に通学するが多いが、通学手段の電車やバスの運賃が高く経済的負担が大都市に比べてかなり大きい。町として通学補助を考えてほしい。307号線でのトラック等の輸送量が多く、渋滞も生じやすい。貨物輸送を鉄道に切り替えることを町としても提案して欲しい

環境整備について《排水》	
	町並みを損わない雨水排水の整備
	下水道、本管への接続をもっと進めるように取り組んで欲しいです
	今は琵琶湖から逆水で水を供給されていますが、温暖化で水が湖から少なくなり、使用出来なくなった場合にどのように生活が出来ていくのか企業さんからの水に対する供給が出来るようになると思います。水をどのように汚水を真水に変えて使用出来るようにしていく事が出来ると思います

環境整備について《鳥獣被害》	
	この夏、我が家の軒先にスズメバチの巣が見つかり、まだ卵だったので無事シルバーさんに駆除していただきました。家庭菜園にカラス、野良猫がキュウリ、トマトなど取られる（畑荒し）私は出会っていませんが町中にも猿・狸がウロウロしているとか、この所、クマの被害が報じられています人ごとと思えません。独居老人が安心安全に暮らせる町作りをお願い致します
	・安心安全で暮らせる町を目指すために獣害対策が必要である ・衛生面での取り組みや里山の整備が必要である ・種の保存とか言われているが環境面から言うと全く矛盾していると考え ・昔はいなかった害獣が出現している事を考えると壊滅させるべきである。少なくとも日野町からはその上で自然エネルギーを利用した発電（太陽光、風力（小型）、振動、地熱、車両による通行など）をすべきである。収入を町の財政に当てる ・ニュージーランドのように花いっぱいコンクールをしてみてもどうか ・プランタ3コくらい（60cm×60cm）に同一条件で種（配布）を撒き、それを評価するとか ・基本コース、応用（中身は自由）創作。○月○日に役場前に持ち寄り出展（出来ない人はスマホで画像送信など）など、他にもアイディアはたくさんありますが・・・

環境整備について《その他》	
	松尾公園の池が、すごく汚くて子供達が入りそうで怖いのできれいにしたいです！！
	歩道に植えてある木は伸びてきたら切ったりと手入れが大変に思います。そのお金ももったいないです。歩道には木を植えずに花を植えるべきです
	当地区は若者が減り年寄りが多くなり区での草刈などの人が少なくなり草刈り作業の機械化を進めたが草刈り機のレンタル料が（ユンボにモアの付いた物）高い。最近はシルバーも人手が足りないと聞いている。農業者でも区でも草刈り問題がネックである
	日野は大きな屋敷が多いが、庭にゴミを置きっ放しの家もある。庭の管理に苦勞している家が多く将来空き家になる恐れのある1つだろう。また近所迷惑にもなるだろう
	日野は花の町と言われているが、その一環として野田川一帯に、アヤメやショウブを植え付け、シーズンに来町者を求めている維持に労力や費用と思うが

行政について	
	現状ではアイディアは見当たらない。貴課職員の斬新な知恵でよろしく
	町の明確な方向や方針を示す事が必要では
	調査をまとめるだけでなく、町民主体の検証設問会や実施するためのプロジェクトチームをつくるなど実効性のあるものとして欲しい
	家電などの不法投棄の回収は町の方で行って欲しい。県町道の雪解けも行政の方で行って欲しい（老人のため）
	様々な団体が個別に行動してもまとまらない。統一して意見を調整して目標を明確にして推進できる部署が欲しい
	役に立たない議員を定年 70 歳にして、1/4 にして月一程度でタウンミーティングすれば年に 1 億円浮くはず
	私の家の隣に寺があります。朝 6 時、昼 11 時にガンガラガンガラやります。私にとって煩わしくてしょうがありません。何とかならないでしょうか？一度役場に相談に行ったのですが役場内に相談所を作っていただけないでしょうか？
	実験事業として来年度の事業計画を「A I」を使って作ってみることが先決だと考える。日本一番乗りでやるべきだと考える。それを参考にして検討を加えてみる方が正確で的を得たものになると思う。まずは実践にしてみてもどうか
	各々、価値観が異なります。まずは、協働をモットーに、町民と行政が連携することで、住民参加の促進に意義があり、誰もが憧れる地域を目指したい！
	地域資源の活用をとて意識されると良いと思います。資源（人、モノ、コト）を教材に、つながりのきっかけに、ビジネスの原動力に、豊かさの源になるよう、多くの企画を行ってください

ごみについて	
	ゴミの収集について検討していただきたいと思う事 コイン型電池の回収・・・ボタン電池の回収をしてくれる所はあるが、コイン型は扱っていない所が多くて困る。東近江市や甲賀市のように役場や拠点での回収をして欲しいと思う 可燃性粗大ごみを有料収集券を利用して収集する方法を加えて、ごみの集積所に燃える粗大ごみを持ち込む人がいて貼り紙が付いたまま置かれている事がしばしばある。自分でセンターに搬入出来ず業者に依頼すると高額になる。他の自治体で行われているような収集券を購入し引き取りに来てもらえるシステムがあれば利用したい人も多いのではないかな。不法投棄の防止にもつながる 意見：悪臭や騒音は感じ方に個人差があり、どの程度のものなのかを見える形のデータとして提示する事が難しい。また影響があるのは発生元の近隣の限られた範囲というケースも多く、心身に不調をきたす場合があるにもかかわらず個人で解決しようとするすると近隣トラブルになる恐れがあるため声を上げにくい。“やったもん勝ち”では「なんか違う」と思う。発生源＞我慢する人 環境を良くするための課題は地域により様々だと思う。自分が気にならない事には無関心になりやすいが、誰もが（年齢、国籍などを問わず）「自分ごととして考えられるような計画」を期待しております
	様々な（町内）場所で野焼き以外でゴミ（落ち葉などだけでなく家庭ごみ）を燃やしているお宅が結構あり、プラスチックが燃える臭いなどする時があり不快。さらに環境には最悪の影響かと思えます。何かたいさくしてもらえるなら嬉しい
	身近な所から始めるのが良いと思う。ゴミや食品ロスに関する事は毎日の生活に直結している。家庭内ではそれらの事を主に誰が行っているのか。性別役割分担意識を改める所から考えてほしい
	ポイ捨てが無くなる事、また軽減したらと道路沿いの空き缶やビニール袋もなくなれば美しい道には（草たけのない）少ない様に思われる。自動車で走っていると気が付かない事が多いですがウォーキングしていると感ずることです
	・ゴミを減らすためにもっとゴミの分別を細かくしてリサイクル出来るようにして欲しい ・過疎地の山道など行政の方に定期的にパトロールしていただき、不法投棄されるゴミがないか見廻って頂きたい。以前（2023 春）近江ヒルズの奥の音羽へつながる山道横に大量の粗大ゴミが捨ててあるのを見てとても嫌な気持ちになった（すぐに誰かが対応して下さったのか、その後ゴミはなくなっていたが・・・） ・日頃から皆で環境整備する意識を持ち、ポイ捨てをしない、させない。もっとリサイクルする意識を持つ。分別して捨てるのがめんどくさいからと何でもひとまとめにゴミにして捨てる人もいると思うので、その意識改革のための啓発活動
	1、生ゴミのゴミコンポスト（場所ある方） 1、コンポストの置き場の無い方、エコペール ☆もっと広報などでアピールする 1、樹木や落葉は燃やさず腐葉土に出来る 指定場所も設ける、細かくするなど規制必要か

活用について	
	昔地域の商店街が元気だった頃、夏に夜市が何回もあり子どもを連れて楽しんだ経験が懐かしく思い出されます。今は商店街も寂しくなりました。高齢化は仕方ないのかも分かりませんが、またかつてのにぎやかな日野町になればと思います。その為にも平和堂あとの空き地の活用を考えて頂ければと思います
	・廃油を回収、買い取りする店舗などを作り、バイオ燃料に精製してバスに使う ・ひまわり、菜種を買い取りして、バイオ燃料に精製してディーゼルエンジン用としてスタンドで販売する ・廃材、間伐材、木の枝などを回収、買い取りをして、ペレットに加工して販売する ・鹿の角や骨を加工してアクセサリや置物としてふるさと納税の返礼品にする ・羊やヤギをレンタル出来るようにして草刈がわりにする
	空き家バンクなどあるが、日野町は空き家を紹介するが、その先、住んでからの世話をしないので、元々住んでいる人と新たに来た人に溝が出来る。考え方がマッチングする事を優先して、お互いが納得出来る様にするべき
	ゴミなど、廃棄物を再エネルギー化する事業

観光・イベントについて	
	植木をする行事とかあるんですか？そういった行事やイベントから興味が出る人も少なからずいると思います
	公園を作っても休みの日に子どもがいない。小さな子はいるけど、いてもゲームをしている。家庭環境の変化が今の世の中に反映されている。ブルーメの丘ともっと協力しながら公園と言う場を設けて四季折々の風景を楽しめる、気軽に来れる場所づくり。植樹を体験する事で共に成長していけるイベント。日野川ダムで昔桜の木の植樹をしたように
	◎観光客を増やす ・森林が多いのに紅葉の名所がない！ ・紅葉（もみじ）、桜、あじさい、さつき、花桃、梅でどれかに集中して町内に植える ・森のステーションの設置 ◦キャンプ場誘致（全国の中高生の宿泊） ◦自転車モトクロス
	日野の商店街の通りは古民家カフェとかで活性化されてきたと思います。道路を整備して歩道にガードレールかアスファルトの色を変えとかして観光地としてアピールしてみても

アンケートについて	
	・アンケートを書くにあたり、いろいろ考える事がありました。今まで触れる機会が少なかったと思います。もっとPRするのが良いと思います ・台風の大規模化や毎年のように水害が発生しています。幸いにして滋賀県は災害が少なく、その点が大きな利点だと思います。災害の少ない滋賀県日野町をPRし活性化を計れないでしょうか
	設問について 高齢者や身障者は参加する気持ちがあっても無理を生ずる。つまり、やりたくても出来ない。そう行った個所には×を付けた。今後、留意を望む
	・年代的に答えづらい所が多かった。理解出来ない所も多かった ・ソーラーなどは勝手に近所に何の話もなく作って良いのかももっと厳しくしてほしい ・夜ガラスはどうして割らなければならないのか？ケガのもとになると思う

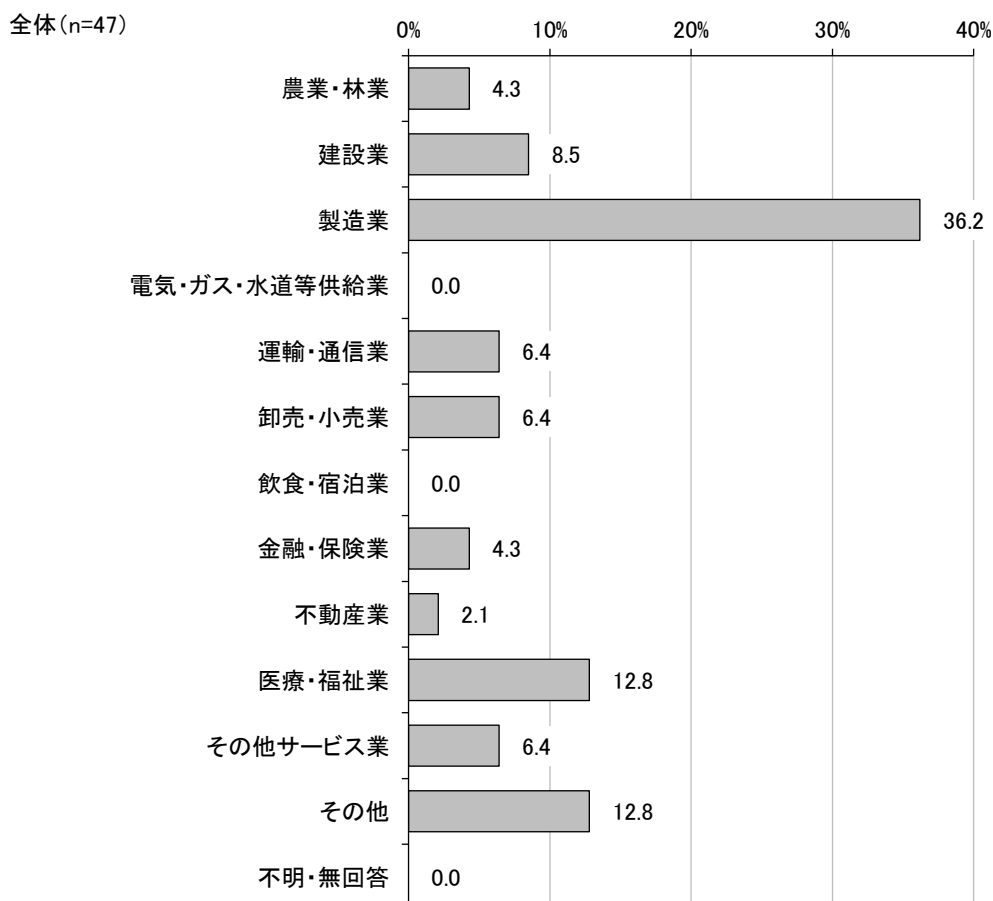
その他	
	ゴミ拾い活動やSDGsのイベントなどがあればボランティアとして参加してみたいと思うが、どこに情報が載っているのか分かりにくい（ホームページなのかチラシなのかSNSなのか・・・）若者が情報を得やすいXやインスタグラムなどのSNSを活用し発信していただければ参加しやすくなるのではないかと考えている
	ゴミ分別後お金の流れと、どのように処理されどのようにリサイクルされているか知らせるべきと思う。不利益になること利益になることハッキリ報告すべきでしょ
	祭りへの参加協力？高齢、病の者への心配りを願う。寺社への負担の重さ
	地域の連携や住民同士のつながりでの活動。押し付けにならない、しない
	値下げ、デモ行進、国家転覆
	皆様に読んで欲しい本 ナオミクライン著・This changes Everything です。何を成すべきかはこの本に書かれています
	周囲を（人・物他）を思いやる心を育む活動、およびその心を持てるゆとり（時間外勤務を減らす）
	子育て世帯が子育てしやすく、働きやすい会社を増やす。地域の役割を行政も介入して子育て、働き世代の負担を減らす取り組みをして欲しい
	障害を持つ人が一生安心して暮らせる場所や施設を日野町に持つ。その施設を必要とする方が皆使える環境作りを早急にして欲しいです
	みなさんの意見を取りまとめ計画を策定するのは大変だと思いますがどうぞよろしくお願いします
	一人ひとりの意識を高めるための学習会を行うなど子供の頃から教育を実施する

Ⅲ 事業者調査結果

Ⅰ 貴事業所のことについて

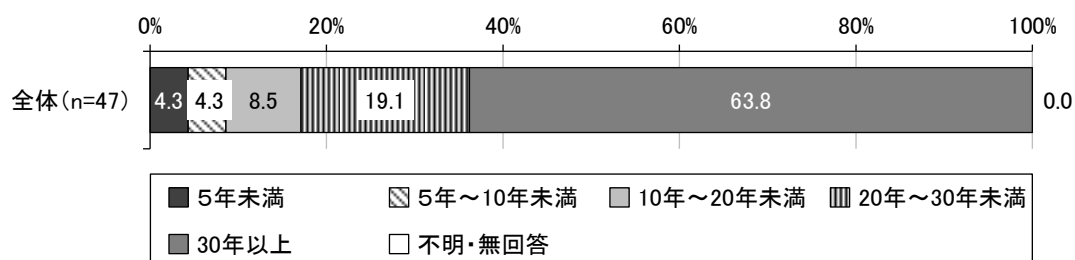
(1) 主たる業種は何ですか。(ひとつに○)

主たる業種についてみると、「製造業」が 36.2%と最も高く、次いで「医療・福祉業」「その他」が 12.8%、「建設業」が 8.5%となっています。



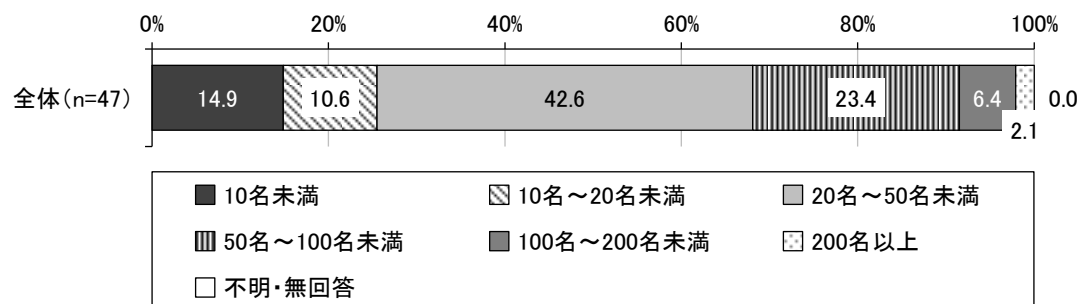
(2) 町内での営業年数は何年ですか。(ひとつに○)

町内での営業年数についてみると、「30年以上」が 63.8%と最も高く、次いで「20年～30年未満」が 19.1%、「10年～20年未満」が 8.5%となっています。



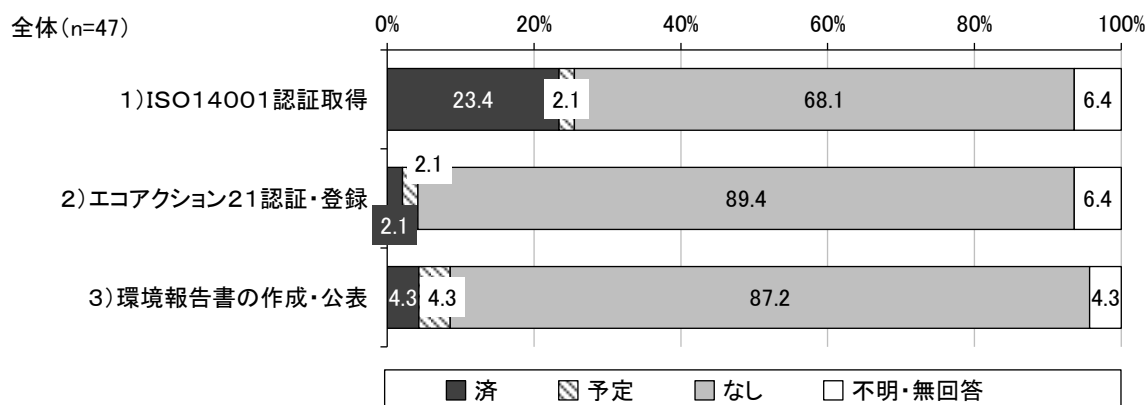
(3) パート等を含む従業員数は何名ですか。(ひとつに○)

パート等を含む従業員数についてみると、「20名～50名未満」が42.6%と最も高く、次いで「50名～100名未満」が23.4%、「10名未満」が14.9%となっています。



(4) 貴事業所の環境保全に関連する認証取得や登録状況をお尋ねします。環境保全に関連する認証や登録内容がありましたらご記入ください。

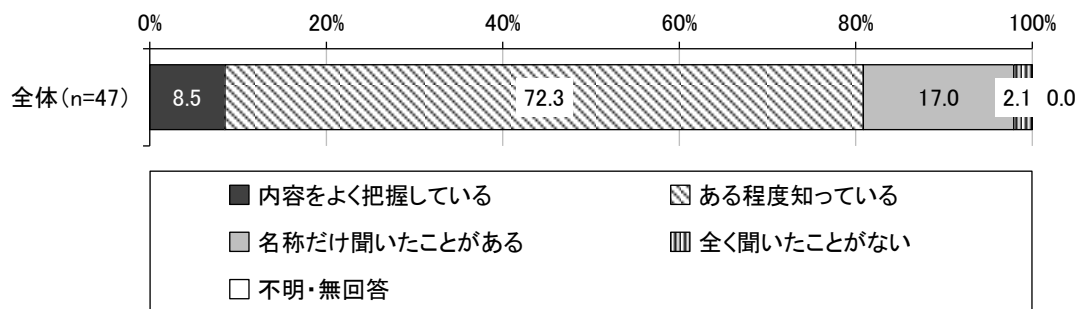
事業所の環境保全に関連する認証取得や登録状況についてみると、すべての項目で「なし」が最も高くなっています。また、〔1〕ISO14001認証取得〕では「済」が2割台と、その他の項目と比べて高くなっています。



2 持続可能な開発目標（SDGs）について

（１）「持続可能な開発目標（SDGs）」をご存じですか。（ひとつに○）

「持続可能な開発目標（SDGs）」の認知度についてみると、「ある程度知っている」が72.3%と最も高く、次いで「名称だけ聞いたことがある」が17.0%、「内容をよく把握している」が8.5%となっています。



（２）SDGsには下記の17の目標が定められていますが、それぞれの目標について貴事業所が取り組まれていることはありますか。あてはまる取り組みをご記入ください。

1. 貧困をなくそう

- ・赤十字などへの寄付
- ・滋賀県社会福祉協議会の「女性のつながりサポート事業」への参加
- ・RSPO認証取得
- ・ベトナム人受け入れ、日本人と同一賃金で雇い入れ
- ・各種ローンの取り扱い iDeCo（個人型確定拠出年金）の取り扱い
- ・特になし

2. 飢餓をゼロに

- ・赤十字などへの寄付
- ・規格外野菜の販売
- ・インフルエンザワクチン接種料金の兄弟割り引き
- ・学童保育所と連携したこども食堂の実施
- ・農業を基軸に食料自給率の向上
- ・ユニセフなどへの寄付
- ・食料品関連のビジネスフェアのご案内
- ・特になし

3. すべての人に健康と福祉を

- ・室内環境への配慮、低VOC製品の製造

- ・健康診断、チャレンジウォーク
- ・全従業員の健康診断
- ・医薬品の製造を通じて健康貢献、育児休業（男性含む）
- ・利用者、職員のラジオ体操
- ・接遇の5つの基本姿勢
- ・安全運転5則
- ・社員とその家族のこころとからだの健康確保、維持に努める
- ・赤い羽根共同募金 ・当社は人類の健康を向上させる事業であること
- ・専門職の勉強会、講演会への出席（参加費用、交通費の補助）
- ・ストレスチェック
- ・献血への協力、健康経営優良法人取得
- ・医院としての方向性に合致している
- ・社員健康管理、行政への寄付金
- ・互応化学工業として健康経営の考え方に基づく健康宣言を行い日々取り組んでいます
- ・働き方改革 健康経営
- ・献血活動、敷地内禁煙の実施、ドクタープラチナムの取扱い、役職員のインフルエンザ予防接種の実施、AEDの全店設置

4. 質の高い教育をみんなに

- ・小学校のご要望に柔軟に対応した社会科見学を実施しています。中高生の職場体験を受け入れ、社会について、環境について、廃棄物について勉強していただいています
- ・就業体験受入、社員の資格取得費用全額補助
- ・誰もが公平に教育を受けられるための学校備品の提案 ※ユニバーサルデザインの校具づくり
教育環境支援
- ・スポーツ・文化を通じた、青少年の健全育成、国際交流を推進しています
- ・スタッフ研修優遇制度、院内研修の実施
- ・幼児教育の向上の一環として絵本を関係施設へ寄贈
- ・「おうみの子」の取扱い、各種教育ローンの取扱い、近隣小学校への金融教育の実施、教育関連寄付活動、地元大学にて講義を開催、1 day 仕事体験の実施
- ・特になし

5. ジェンダー平等を実現しよう

- ・企業内人権問題の取り組み
- ・育児休業（男性含む）
- ・外国人籍人材の雇用促進により、ビジネスグローバル化を図る
- ・事業方針にJAXDEIを定め、多様性や公正を迫及している
- ・スタッフ全員女性です
- ・会社としてオンライントレーニングを行っている
- ・行動倫理規範に Diversity&Inclusion を掲げ、SOGI の概念を社内規則に反映し、ハラスメント防止等社内教育を実施

- ・社内的にジェンダーレスの活動が実施されている
- ・社内教育
- ・子育てに対する配慮・支援の取り組み、有給休暇取得推進などを進めている
- ・男女で雇用条件や待遇に差がないような環境整備をしている
- ・互応化学工業株式会社行動計画(女性活躍推進法)に基づき性別にとらわれず、社員一人ひとりが活躍できるように行動計画を策定し実施しています
- ・女性職員の渉外担当への登用促進、パンツスタイル等制服の多様化、職場におけるハラスメント防止に向けた規定・取り組み方針の制定、女性活躍推進法へ取り組み

6. 安全な水とトイレを世界中に

- ・給水タンクの点検管理、全て水洗トイレ
- ・節水、排水の管理
- ・水洗便所改造資金融資商品の取扱い
- ・特になし

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- ・リサイクル推進、産業廃棄物の削減
- ・ボイラー重油→都市ガス、省エネ対策
- ・省エネルギー機器の導入
- ・廃棄物の再資源化
- ・節水、節電の取り組み
- ・改善活動を通じて継続した省エネルギー化に取り組んでいます
- ・エネルギー使用量の現状把握を行っている最中である
- ・バイオマスボイラーや省エネ活動にて、二酸化炭素の削減に取り組んでいる
- ・冷暖房をボイラー→電気。ディーゼル→エコカーに。(社用車)
- ・送迎車購入時にハイブリット車の選択
- ・CO₂排出量の算定
- ・グリーン電気の使用、太陽光発電の導入に取り組んでいる
- ・事業所の照明をLED機器への交換により、職場環境の改善・省エネに努めている
- ・高感度UV硬化型レジスト材料の開発に組み、LED照明等の照度を飛躍的に向上させ、産業全体の低エネルギー化に貢献しています
- ・エコドライブ運転の推進
- ・ESG投資、クールビズ・ウォームビズ等地球温暖化防止に向けた省エネの推進、ペーパーレス化の推進による資源削減、預金規定・定款等の電子化、LED照明による省電力化・CO₂削減

8. 働きがいも経済成長も

- ・互助会の加入。中小企業支援
- ・全ての従業員が働きながら成長し、人生を豊かにすることを目標にしています。実務に沿った専門的な勉強会や、人としての在り方、リーダーのための研修会など様々な機会を設けて成長をサポートします

- ・女性管理職増加
- ・健康経営
- ・働きやすい職場づくり 5S 活動
- ・社員とその家族のこころとからだの健康確保、維持に努める
- ・有給休暇の取得率の向上など
- ・お客様第一優先を行動規範に明記
- ・社員の健康増進を図るため「健康アクション宣言」を行い、健康と仕事の両立を推進している
- ・仕事とプライベートのバランスが取れ、雇用保険など加入している
- ・資格取得の推進
- ・キャッシュレス決済推進、創業新事業支援・経営改善支援、日本政策金融公庫共済創業支援相談会開催
- ・特になし

9. 産業と技術革新の基礎をつくろう

- ・町内事業所の経営支援
- ・CO₂排出削減、省エネ推進
- ・設備投資増加
- ・製品開発
- ・新製品の研究開発
- ・UV硬化システムによるレジスト材料の開発により、従来の塗料において溶媒として使用されている有機溶剤の使用の低減や無溶剤化が可能であり、有害物質の環境や人への負荷の低減に貢献しています
- ・日本政策金融公庫・商工会議所等の外部機関連携による取引先支援、ビジネスマッチングによる販路開拓支援、M&A・事業承継支援

10. 人や国の不平等をなくそう

- ・人権問題への取り組み
- ・ハラスメント防止、研修や窓口の設置
- ・外国人労働者の雇用の促進
- ・事業方針にJAXDEIを定めて、人種や国籍、年齢や性別の違いにかかわらず、公平に取り組んでいる
- ・外国人労働者（技能実習生）の積極的な受入
- ・ハラスメント相談窓口の設置
- ・ダイバーシティをキーワードに活動している
- ・人権啓発研修への参加、各種寄付活動
- ・特になし

11. 住み続けられるまちづくりを

- ・廃棄物に関する豊富な知識で、環境負担低減や環境改善の提案を通じて持続可能な社会の実現を目指します

- ・室内環境への配慮
- ・防災訓練
- ・古紙回収リサイクル、金属回収、廃棄物分別
- ・近隣学童保育所運営に対する支援
- ・廃品回収への協力
- ・UV硬化システムによるレジスト材料の開発により、従来の塗料において溶媒として使用されている有機溶剤の使用の低減や無溶剤化が可能であり、有害物質の環境や人への負荷の低減に貢献しています
- ・「東近江市空き店舗再生支援資金」
- ・「リバースモーゲージローン おうみのくらし」の取扱い、車いす、スロープ、点字ブロックの設置、地域行事への参加

12. つくる責任、つかう責任

- ・廃プラスチックを主原料とした、再生燃料を製造・販売しています。限りある資源を有効活用し、次のサイクルへ繋げています
- ・環境配慮型商品の製造、リサイクル、産廃削減、CO₂排出削減
- ・リサイクル可能製品の開発
- ・産業廃棄物の削減（リサイクル）
- ・排水管理、産廃管理
- ・工場からの廃棄物を削減。リサイクルおよびノンリサイクル廃棄物の分別を行い、廃棄物を削減する
- ・次世代リーダー研修など
- ・環境にやさしい製品の製造販売
- ・ISO9001取得
- ・有害な化学物質の使用を制限しており、それに適合した製品開発を行っている。自社製品(化学品)のリサイクル機能を備えた装置の開発・製造・販売を行い、廃棄物の削減に貢献している
- ・PETボトルの水平リサイクル事業により、サーキュラエコノミーの実現に貢献
- ・製品設計がサステナブルになるように取り組んでいる
- ・弊社では製造物責任法に基づく開発・製造・販売を行い事業活動をしています
- ・エコキャップ・使用済み切手の回収推進活動、ペーパーレス化による資源削減の実施、シュレッダーゴミのリサイクル活動、店舗周辺の早朝美化活動

13. 気候変動に具体的な対策を

- ・CO₂排出量や水の使用量、廃棄物のリサイクル率向上などについて目標設定し取り組んでいます
- ・CO₂排出削減、省エネ推進
- ・CO₂削減（製品1tあたりの原油）1%目標
- ・精算時の消費電力の削減
- ・省エネ製品の仕様、CO₂排出削減
- ・カーボンニュートラルの取組み
- ・ペーパーレス化のため紙カルテ→電子カルテに変更。封筒の再利用
- ・コージェネレーションシステムの導入

- ・森林資源の適切な管理
- ・PETボトルの水平リサイクル事業により、カーボンニュートラルに貢献
- ・サステナビリティでエネルギー、水、廃棄物の削減に取り組んでいる
- ・高感度UV硬化型レジスト材料の開発に取り組んでおり、LED-UV光源による硬化に対応することで、レジスト硬化時のエネルギーを削減でき、温室効果ガスの削減に貢献しています
- ・該当なし

14. 海の豊かさを守ろう

- ・製剤・製品ロスの低減、資材を減らす
- ・ペットボトルリサイクル事業への出資
- ・環境にやさしい製品の開発
- ・PETボトルの水平リサイクル事業により、海洋汚染ゴミの低減に寄与
- ・特になし
- ・該当なし

15. 陸の豊かさも守ろう

- ・製剤・製品ロスの低減、資材を減らす
- ・電子化活動によるペーパーレス化
- ・環境に配慮したインク使用による印刷物の発行、各種資料のペーパーレス化、環境保全活動・地域清掃活動
- ・特になし

16. 平和と公正をすべての人に

- ・法令遵守
- ・お取引先様との相互繁栄、相互信頼をめざす
- ・メンバーシップを求め協同組合運動の展開
- ・反社会的勢力との取引撲滅、特殊詐欺被害防止啓発活動、マネーロンダリング・テロ資金供与対策の強化
- ・特になし

17. パートナーシップで目標を達成しよう

- ・同業種組織への活動支援
- ・新しい学習空間の創造。設計事務所や空間デザイナーなどと提携して、新しい学習環境空間デザインを創造する
- ・複数技工所との連携
- ・各機関との包括連携協定、ソーシャル企業認証制度の取扱い
- ・特になし

3 貴事業所での社会貢献について

(1) 環境分野にとらわれず、貴事業所が実施している社会貢献活動をご記入ください。

- ・市中廃材（農業用ビニルハウス）のリサイクル
- ・事業所内のゴミの分別
- ・産廃量の削減
- ・省エネルギー機器の導入
- ・日野町子育て応援フードドライブ参加、ペットボトルキャップ回収
- ・ゴミ拾い
- ・認知症キャラバンメイトへの職員参加
- ・カーボンニュートラルの取組み
- ・小切手回収
- ・フードドライブへの協賛
- ・中学生、高校生インターンシップ
- ・森林組合の森林整備業務が持続可能な森林環境につながっている
- ・CSR活動
- ・障害者雇用
- ・エコフオスターへの参加、地域清掃活動への参加
- ・ご高齢者の雇用
- ・環境美化キャンペーン 毎月10月に1日（午前中）、会員が清掃活動を実施。場所：役場周辺、ひばり野公園、わたむきホール虹
- ・当社の事業である実験動物は創薬開発に必要であり、開発された医薬品は人類の健康の向上につながることで、社会に貢献する活動だと考えている
- ・環境に優しい製品の製造
- ・エコフオスター活動、各種クリーン作戦への参加、除雪・防災協定、子ども110番の家
- ・交通安全運動の協力、学童保育所へのハード面支援、学校依頼の外国人労働者の講演等
- ・事業所周辺のごみ拾い
- ・企業との「琵琶湖森林づくりパートナー協定」締結
- ・琵琶湖ごみ拾いキャンペーンへの参加と協賛
- ・事業場周辺清掃活動
- ・地域コミュニティに密接に関わり、必要とされる協同組合運動の展開
- ・2021年に日野町へ現金200万円の寄付、2022年に町立の保育園、幼稚園、こども園に絵本を寄贈
- ・昨今の製品含有化学物質管理への環境規制や化学物質規制をクリアした製品を開発・製造・販売することで社会に展開し、顧客等の利害関係者のニーズを満たしています
- ・おっぱい塾の開催、こども110番活動、店舗周辺清掃活動、AEDの設置、スポーツ振興、献血等
- ・特にございません

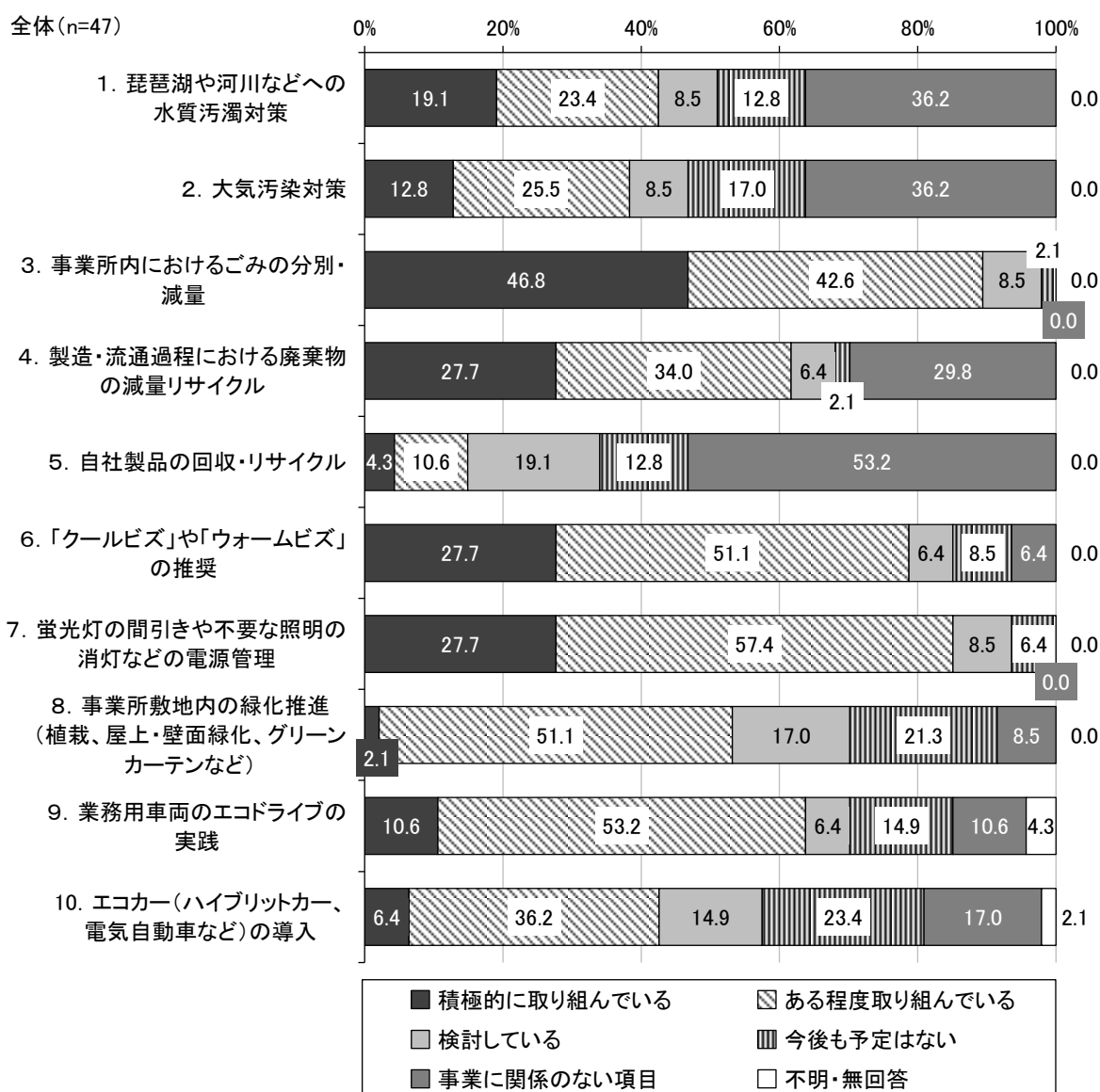
(2) 環境分野にとらわれず、貴事業所が実施したい社会貢献活動をご記入ください。

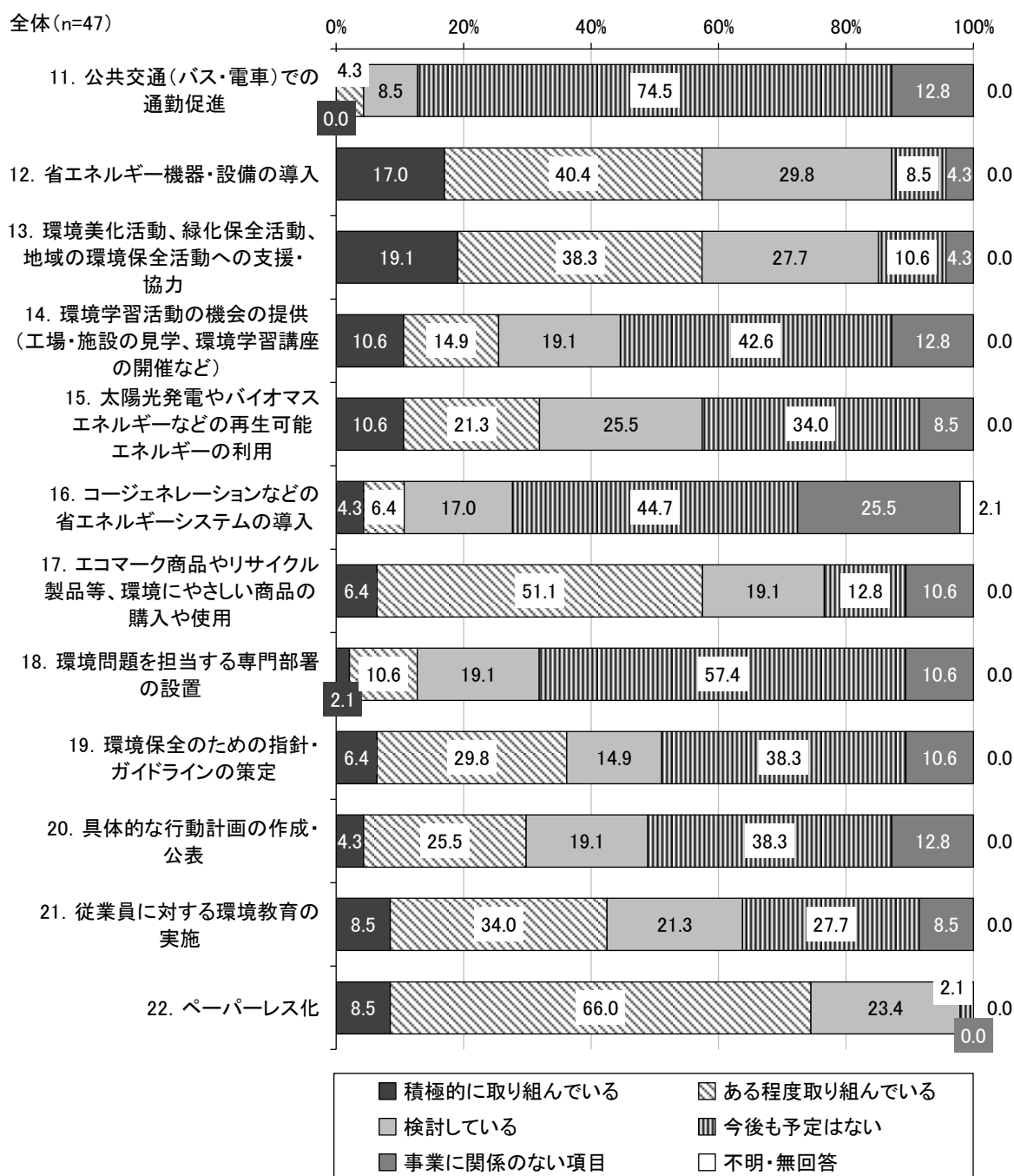
- ・ 地域への貢献
- ・ 現時点で思い当たる活動はなし
- ・ 産学連携
- ・ フードロス削減
- ・ 太陽光発電
- ・ 廃プラスチック類のサーマルリサイクルをしておりますので、事業として、社会貢献ができると、良いなと思います
- ・ 地産地消（エネルギー低減、地域活性化）
- ・ 環境に優しい製品の仕様を社会に拡大
- ・ ごみの分別の細分化
- ・ 在宅医療
- ・ サーキュラーエコノミーに関する啓蒙・教育活動　ゴミ拾い等環境美化活動
- ・ 製品含有化学物質管理への環境規制や化学物質規制への問合せや保証依頼を他社と協力し統合システム構築を進めることで、より効率的に環境負荷の少ない製品を社会に展開できるようにしていきたいと考えています
- ・ 特になし

4 貴事業所での環境対策について

■ 貴事業所での環境対策として、それぞれの項目で、該当する番号に○をつけてください。

事業所での環境対策の取り組みについてみると、「1. 琵琶湖や河川などへの水質汚濁対策」「2. 大気汚染対策」「5. 自社製品の回収・リサイクル」では「事業に関係のない項目」、「11. 公共交通（バス・電車）での通勤促進」「14. 環境学習活動の機会の提供（工場・施設の見学、環境学習講座の開催など）」「15. 太陽光発電やバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギーの利用」「16. コージェネレーションなどの省エネルギーシステムの導入」「18. 環境問題を担当する専門部署の設置」「19. 環境保全のための指針・ガイドラインの策定」「20. 具体的な行動計画の作成・公表」では「今後も予定はない」、その他の項目では「積極的に取り組んでいる」または「ある程度取り組んでいる」が最も高くなっています。また、「3. 事業所内におけるごみの分別・減量」「6. 「クールビズ」や「ウォームビズ」の推奨」「7. 蛍光灯の間引きや不要な照明の消灯などの電源管理」「22. ペーパーレス化」では『取り組んでいる』（「積極的に取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の計）が7割以上と、その他の項目と比べて高くなっています。





■23. その他（上記以外で、貴事業所で特に進めている環境対策がありましたら記入してください。）

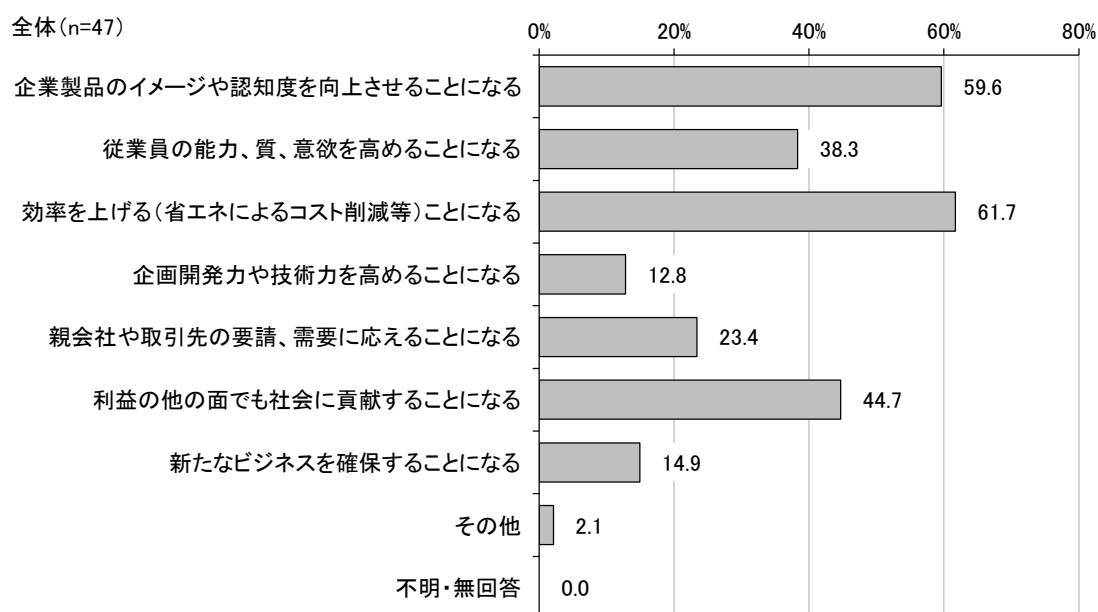
従業員の方が取り組んでいる小さな取り組みでも構いません。

- ・ 5S 活動（整理整頓、安全な職場作り、体調管理、安全衛生会議など）
- ・ 自転車通勤
- ・ 物を大事に使う
- ・ コピー裏面利用
- ・ 電気の節電
- ・ 環境委員会を設置し、従業員への周知を図っている

5 環境に関する取り組みについて

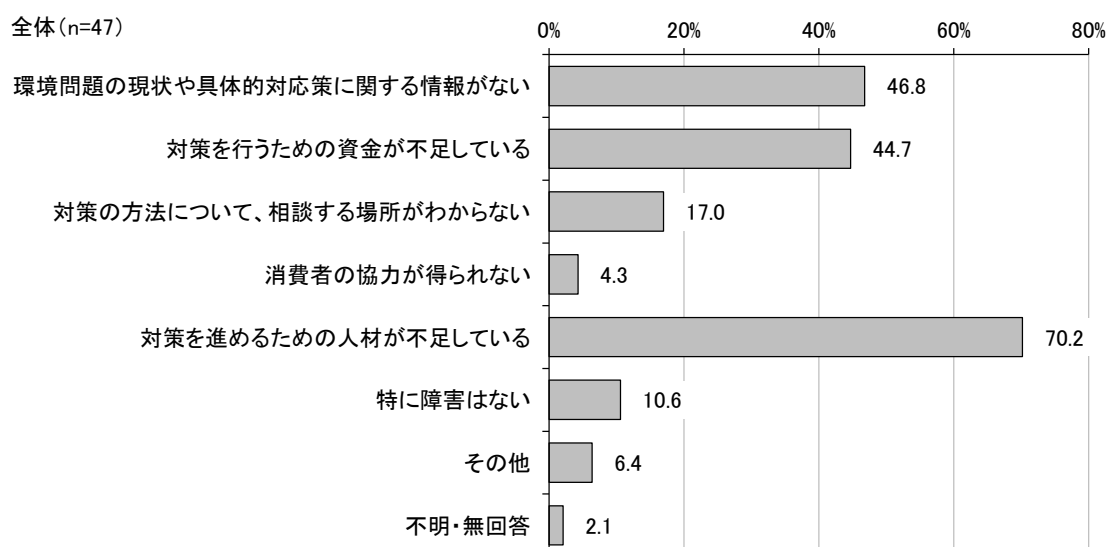
(1) 環境に関する取り組みをすることで、貴事業所にもたらされる良い効果には何があると思われますか。(あてはまるものすべてに○)

環境に関する取り組みによって事業所に生じる良い効果についてみると、「効率を上げる(省エネによるコスト削減等)ことになる」が61.7%と最も高く、次いで「企業製品のイメージや認知度を向上させることになる」が59.6%、「利益の他の面でも社会に貢献することになる」が44.7%となっています。



(2) 貴事業所が環境保全対策を進めていくためには、どのようなことが障害になると思われますか。(あてはまるもの3つに○)

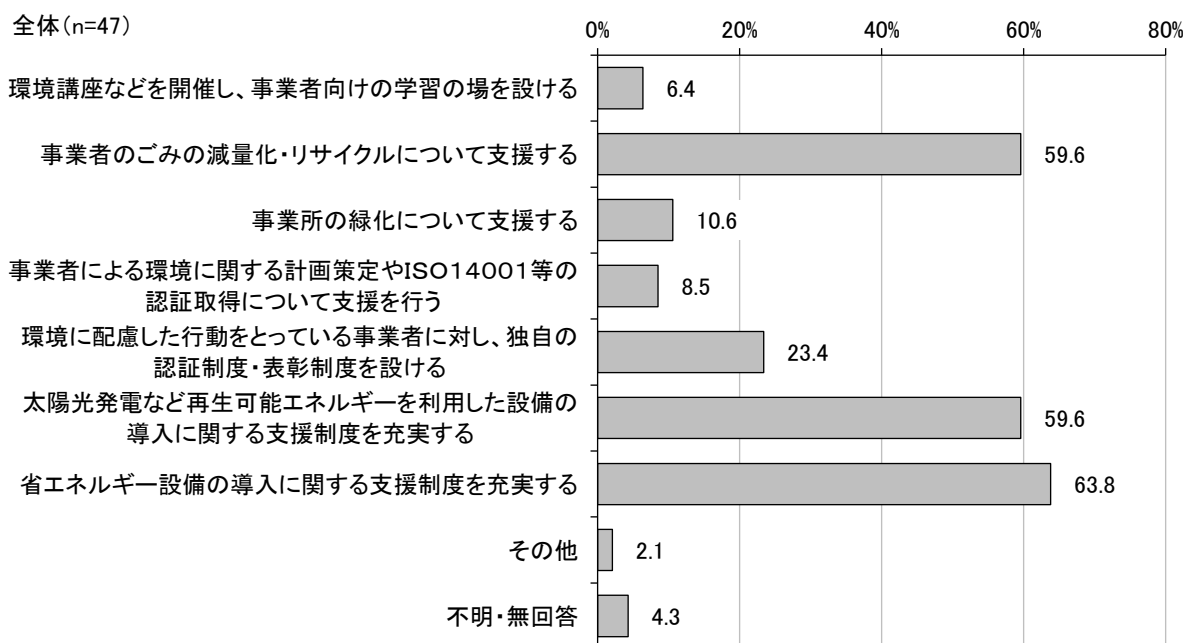
環境保全対策を進めていくために障害になると思うことについてみると、「対策を進めるための人材が不足している」が70.2%と最も高く、次いで「環境問題の現状や具体的対応策に関する情報がない」が46.8%、「対策を行うための資金が不足している」が44.7%となっています。



6 行政に期待する施策について

(1) 貴事業所が環境保全対策を進めていくために、貴事業所が行政に期待している施策は何ですか。(あてはまるもの3つに○)

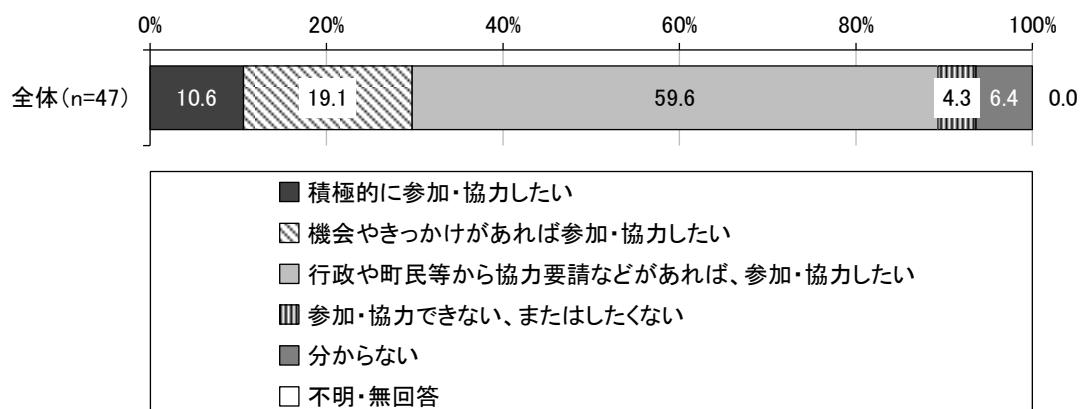
環境保全対策を進めていくために、行政に期待する施策についてみると、「省エネルギー設備の導入に関する支援制度を充実する」が63.8%と最も高く、次いで「事業者のごみの減量化・リサイクルについて支援する」「太陽光発電など再生可能エネルギーを利用した設備の導入に関する支援制度を充実する」が59.6%、「環境に配慮した行動をとっている事業者に対し、独自の認証制度・表彰制度を設ける」が23.4%となっています。



7 環境保全に関する活動への参加・協力について

(1) 貴事業所として環境保全活動への参加・協力は可能ですか。(ひとつに○)

事業所として環境保全活動への参加・協力が可能かについてみると、「行政や町民等から協力要請などがあれば、参加・協力したい」が 59.6%と最も高く、次いで「機会やきっかけがあれば参加・協力したい」が 19.1%、「積極的に参加・協力したい」が 10.6%となっています。



「積極的に参加・協力したい」「機会やきっかけがあれば参加・協力したい」を回答した事業所

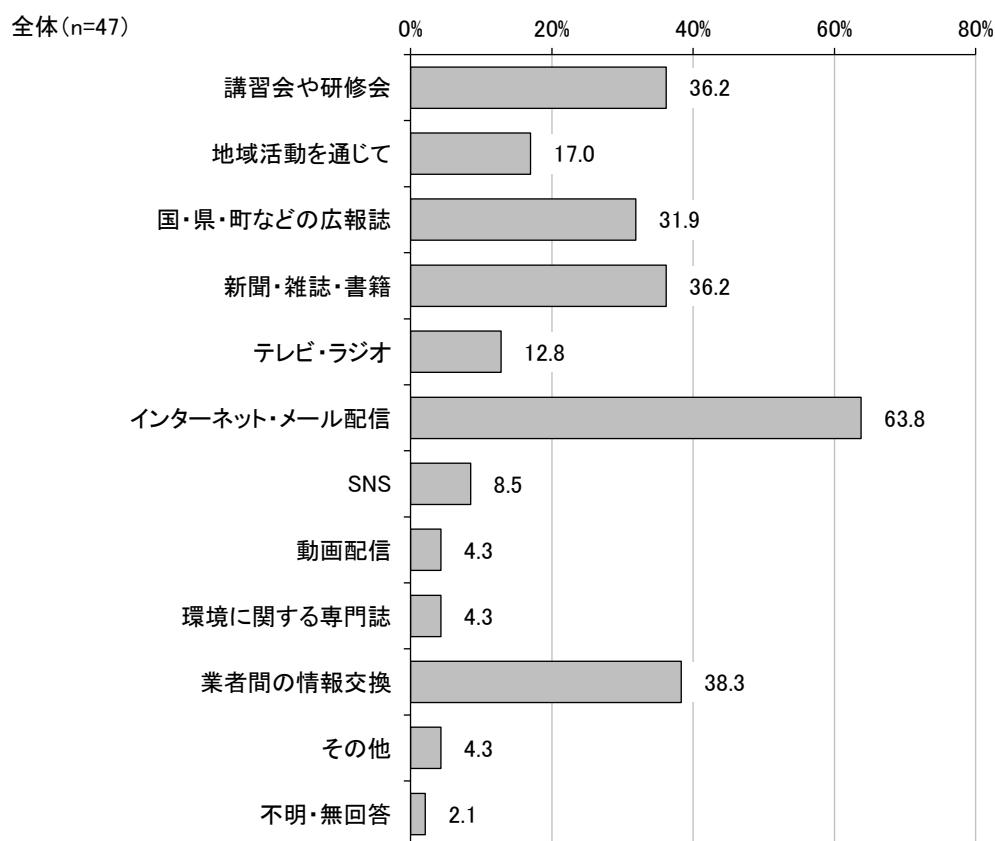
(2) どのような活動であれば参加したいか、参加しやすいか、記入してください。

- ・ 自社が活動に参加している事をアピールできる様な活動
- ・ 近隣地域の清掃活動
- ・ 講演会等への出席
- ・ 廃棄物のリサイクルについて
- ・ 事業者向け学習会
- ・ 環境美化活動、啓蒙・教育活動への協力

8 環境に関する情報提供について

(1) 環境に関する情報を入手したい場合、貴事業所ではどのような媒体を活用していますか。
(あてはまるもの3つに○)

環境に関する情報を入手したい場合に活用する媒体についてみると、「インターネット・メール配信」が63.8%と最も高く、次いで「業者間の情報交換」が38.3%、「講習会や研修会」「新聞・雑誌・書籍」が36.2%となっています。



9 自由回答

事業者様の視点から環境を良くするためのアイデアやご意見、環境を良くするために町民と事業者、行政が協力して行う活動等についてご提案等がございましたら、ご自由にご記入ください。

回答内容
国道 307 号線の一部が森林に近く、枝が道路にはみ出ている。整備してほしい。鹿が出そうでこわい。
【企業】 イベント協賛（資金・人材） 【行政】 環境イベント主催（町民等参加型：植樹・緑化・清掃等と参加報酬何か）フォトロゲイニング等野外イベント＋清掃とか 【町民】 イベント参加（意識向上） 町政の財源が潤沢なら 【企業】 【町民】 CO2 削減設備導入 【行政】 CO2 削減設備導入の助成金 など
廃プラスチックについて、サーマルリサイクルをしておりますので、何か出来れば…と思っております。
冬季の積雪への対応で苦勞しており、事業所敷地内における、誰もが扱える除雪機の紹介等お聞きしてみたい。 ※大雪でも安心できる環境作り
学習会のフィールド提供は可能です。
・バイオマスエネルギー導入支援 ・クリーン交通インフラ整備 ・LED 太陽光街灯の普及
悪臭に大変迷惑している

日野町環境基本計画策定にかかる
アンケート調査
結果報告書

発行：日野町 交通環境政策課
TEL：0748-52-6578
FAX：0748-52-2043

発行年月：令和6年3月